

# 文 献

## 哺乳類文献

- 阿部 永 (1988) 日本産モグラ類の分類と類縁関係. 哺乳類科学, 28 (1) : 63-68.
- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 (1994) 「日本の哺乳類」. 195pp. 東海大学出版会.
- Abe, H. (1995) Revision of the Asian Mole of the Genus *Mogera*. *J. Mammal. Soc. Japan*, 20 (1) : 51-68.
- Abe, H. (1996) On the Specific names of the Japanese moles of the Genus *Mogera* (Insectivora, Talpidae). *Mammal Study*, 21: 115-123.
- Corbet, G. B. (1978) *The Mammals of the Palaearctic Region: a taxonomic review*. British Museum (Natural History). 314pp. Cornell University Press.
- Ciles, R. H. (Ed.) (1971) *Wild life management techniques* (3rd ed.). 633pp. The Wildlife Society, Washington.
- 藤原 仁 (1959) 比婆山・道後山周辺の哺乳類. 「比婆・船通・道後・帝釈. 郷土科学誌」: 39-50. 比婆科学教育振興会.
- 船越公威 (1988) ノレンコウモリの活動期における生息場所と個体群動態. 地域総合研究, 16 (2) : 137-147. 鹿児島経済大学.
- 日高敏隆監修 (1996) 「日本動物大百科1・2」. 156 pp., 155pp. 平凡社.
- 広島哺乳類談話会 (2000) 「広島県の哺乳類」. 169pp. 中国新聞社.
- 今泉吉晴 (1973) 失われゆく日本の野生動物記－カワウソ最後の生息地をさぐる. アニマ, 5: 5-16.
- 今泉吉典 (1969) 「原色日本哺乳類図鑑」. 196pp. 保育社.
- 今泉吉典 (1970) 「日本哺乳動物図説」. 350pp. 新思潮社.
- 今泉吉典 (1991) 「分類から進化論へ」. 286pp. 平凡社.
- 今西錦司 (1972) 「生物の世界」. 194pp. 講談社.
- 岩瀬純二 (1973) 山岳の主－カモシカを追って. アニマ, 8: 18-24.
- 岩瀬純二 (1978) 県内の哺乳類の概要. 動物分布調査報告書(哺乳類). 第2回自然環境保全基礎調査: 1-30. 島根県.
- 金森弘樹・井ノ上二郎・周藤靖雄 (1994) 島根半島弥山山地におけるニホンジカの生息環境・生息実態・被害発生の相互関係. 島根県林業技術センター研究報告, (45) : 35-46.
- 加藤貞享 (2003) 凤来寺山のホンドモモンガの生息状況. 凤来寺山自然科学博物館館報, (32) : 61-68.
- 加藤琢矛・大畑純二 (1994) 哺乳類. 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (2). 隠岐の文化財, (11) : 1-10.
- 加藤嘉太郎 (1972) 「増訂改版家畜比較解剖図説 (第4版)」. 290pp. 養賢堂.
- 桑原一司・奥田雅史 (2002) 島根県瑞穂町におけるコウモリの越冬洞と繁殖洞. 高原の自然史, (7) : 59-83.
- 前田喜四雄 (1984) 日本産翼手目の採集記録 (I). 哺乳類科学, (49) : 55-78.

- 前田喜四雄 (1986) 日本産翼手目の採集記録 (II). 哺乳類科学, (52) : 79-97.
- 盛永俊太郎・安田健編・谷口澄夫解題 (1987) 隠岐・出雲・播磨・備前・備中, 享保元文諸国産物帳集成第VII卷9: 124-350. 科学書院.
- 中川顯允 (1820) 工藤忠孝複製 (1973) 石見外記 (全). 113pp. 石見地方未刊資料研究会. 島根県立大田高等学校図書館.
- 中島福男 (1997) 徳島県内におけるヤマネ発見の意義. 哺乳類科学, 37 (1) : 75-80. 日本哺乳類学会.
- 中島福男 (2001) 「日本のヤマネ」. 169pp. 信濃毎日新聞社.
- 直良信夫 (1965) 「日本産狼の研究」. 290pp. 校倉書房.
- 日本哺乳類学会編 (1997) 「レッドデータ日本の哺乳類」. 279pp. 日本哺乳類学会.
- 日本哺乳類学会種名・標本検討委員会・目名問題検討作業部会 (2003) 哺乳類の高次分類群および分類階級の日本語名称の提案について. 哺乳類科学, 43 (2) : 127-134.
- 小原秀雄 (1971) 「人類が生き残るために」. 205pp. 国土新書.
- 小原秀雄・川那部浩哉 (1999) 「対論－多様性と関係性の生態学」. 195pp. 農産漁村文化協会.
- 織田銑一 (1994) スクラーゼ(二糖類水解酵素)活性から見た食虫類: とくにトガリネズミ亜科とジネズミ亜科について. 哺乳類科学, 34 (1) : 59-65.
- 大畑純二 (1983) 部分白化のコキクガシラコウモリを見つけた! 科学朝日, 43 (9) : 12.
- 大畑純二 (1984) 石見銀山の哺乳類－コウモリ. 郷土石見, (13) : 90-94.
- 大畑純二 (1986) 1982年に採集したネズミ類と食虫類. 島根野生研会報, (4) : 32-34.
- 大畑純二 (1988) 江津市内の廃坑C洞のコウモリ. 島根野生研会報, (5) : 15-18.
- 大畑純二 (1989) 島根県で初の、ノレンコウモリの目撃と採集. 島根野生研会報, (6) : 12.
- 大畑純二 (1989) 島根県におけるコウモリの分布. 島根野生研会報, (6) : 1-6.
- 大畑純二 (1990) 島根のコウモリ. 島根県立江津高校研究紀要, (2) : 25-32.
- 大畑純二 (2003) 島根県で初めて棲息が確認されたコモグラとミズラモグラ. 島根県立三瓶自然館研究報告, (1) : 3-8.
- 大畑純二 (2013) 三瓶山北の原で採集されたミズラモグラ. 島根県立三瓶自然館研究報告, (11) : 55-58.
- Riney, T. (1982) *Study and Management of Large Mammals*. 552pp. JOHN & SONS Ltd.
- 佐藤國康 (2002) 住宅難か電線のクランプカバーにいたヤマネ. 岡山自然保護センターだより, 11 (7) : 5.
- 沢田 勇 (1976) 条虫相からみた日本産キクガシラコウモリ科コウモリの分布に関する2, 3の知見. 動物学雑誌, 35: 40-155.
- 沢田 勇 (1984) 山陰地方における洞穴棲コウモリの分布及びそ

- の内部寄生虫相. 奈良教育大学紀要, 33: 33-44.
- 沢田 勇 (1986) 隠岐諸島における洞穴棲コウモリの分布及びその内部寄生虫相. 奈良産大紀要, 33: 145-151.
- Seton, E. T. (1925-28) 今泉吉晴訳 (1998) 「シートン動物誌」, 2: 77-292, 11: 137-190. 紀伊国屋書店.
- 芝田史仁 (2000) ヤマネ. 「冬眠する哺乳類」: 162-186. 東京大学出版会.
- 島根県環境生活部自然環境課 (1997) 「しまねレッドデータブック -島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 417pp. 島根県.
- 島根県農林水産部 (1980) 「島根県に分布する獣類」. 105pp. 島根県.
- 島根県農林水産部森林整備課 (1986, 1991, 1993, 1996) 島根半島弥山山地におけるニホンジカに関する調査, I: 1-56, II: 1-54, III: 1-42, IV: 1-32. 島根県.
- 清水善吉 (1989) モモンガの演習林. アニマ, (206) : 62-63.
- 土屋公幸 (1988) 日本産モグラ科の染色体による分類. 哺乳類科学, 28 (1) : 49-61.
- Wemmer, C. M. (Ed.) (1982) *Biology and Management of the Cervidae*. 577pp. Smithsonian Institution Press, London.
- 山根 積 (1976) カワウソ. 大国天河内教育史: 181. 大国天河内教育史をつくる会.
- 吉田博一 (1961) 大山の小哺乳類に関する二、三の知見. 哺乳動物学雑誌, 14 (4-6) : 127-131.
- 日高敏隆監修／樋口広芳・森岡弘之・山岸 哲編 (1996b) 「日本動物大百科 鳥類II」. 180pp. 平凡社.
- 東 陽一・桑原和之・金井 裕 (1996) コアジサシ *Sterna albifrons* の営巣地の現状と保全策. STRIX, (14) : 143-157.
- 樋口広芳 (1992) カラスバト-密猟にさらされる照葉樹林の黒いハト. アニマ, (242) : 41.
- 平野敏明・安井さち子 (2001) 渡良瀬遊水地周辺における冬期のチュウヒの食性. STRIX, (19) : 43-47.
- 広島県 (2012) 「広島県の絶滅のおそれのある野生生物 (第3版) -レッドデータブックひろしま2011-」. 633pp.
- <http://www.wbsj.orj/activity/conservation/endangered-species/bfs-census/#summary>
- 飯田知彦 (1991) オオジシギの繁殖行動と生息環境. STRIX, (10) : 31-50.
- 飯田知彦 (1992) 電柱を営巣場所にするツッポウソウの繁殖分布. STRIX, (11) : 99-108.
- 飯田知彦 (2006) ツッポウソウの巣箱かけプロジェクト. BIRDER, 20 (6) : 43-45.
- 池田善英・井上陽一・須藤一成・夜久保徳・安田亘之・久保上宗次郎・遠間真弓 (1990) 若狭湾における営巣ハヤブサの狩猟行動と給餌行動. STRIX, (9) : 15-22.
- 池田善英・須藤一成・真崎 健 (1992) 石川県加賀地方におけるハチクマとオオタカの繁殖記録. STRIX, (11) : 353-355.
- 五百沢日丸・山形則男・吉野俊幸 (2000) 「日本の野鳥550 山野の鳥」. 359pp. 文一総合出版.
- 石部 久 (1992) ヤマセミ河川構造によって採食成功率に変化が. アニマ, (242) : 45.
- 石本賢治 (2009) 島根県におけるウチヤマセンニュウの繁殖記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 343-346.
- 石塚 徹 (1990) 金沢市におけるアカモズの亜種間交雑例. STRIX, (9) : 71-75.
- 出雲市トキによるまちづくり推進協議会 (2011) 「出雲市トキによるまちづくり構想」. 19pp.
- 神保健次 (1985) 初めて記録をとったヤマセミの子育て. アニマ, (148) : 73-79.
- 香川敏明 (1990) なわばりのしくみを調べる. アニマ, (212) : 22-24.
- Kaname Kamiya and Kiyoaki Ozaki (2002) Satellite Tracking of Bewick's Swan Migration from Lake Nakaumi, Japan. Waterbirds, (25) : 128-131.
- 金井 裕・磯部清一・成末雅恵・桑原和之 (1991) 東京湾岸におけるコアジサシの繁殖地の分布変化. STRIX, (10) : 263-267.
- 環境庁 (1981) 「日本産鳥類の繁殖分布」. 554pp.
- 環境省 (2004) 希少猛禽類調査 (イヌワシ・クマタカ) の結果について. 報道発表資料.
- 環境省 (2012) 環境省第4次レッドリスト. 鳥類.
- 環境省自然環境局 (2013) 「第43回ガンカモ類の生息調査報告書」. 195pp.
- 環境省自然環境局生物多様性センター (2006) 隠岐諸島. 平成17年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (モニタリングサイト1000) 海鳥調査業務報告書: 4-16.

## 鳥類文献

- 東 淳樹 (2005) 里山の猛禽類-サシバ概観. BIRDER, 19 (6) : 20-25.
- バードライフ・アジア編 (2003) 「絶滅危惧種・日本の野鳥 バードライフ編レッドデータブックに見る日本の鳥」. 207pp. 東洋館出版社.
- 遠藤公男編 (1993) 「夏鳥たちの歌は、今」. 262pp. 三省堂.
- 遠藤孝一・平野敏明 (1983) 栃木県におけるノビタキの繁殖分布と繁殖環境. STRIX, (2) : 12-18.
- 遠藤孝一・平野敏明 (1986) 栃木県におけるオオジシギの分布と生息環境. STRIX, (5) : 47-52.
- 遠藤孝一・平野敏明 (1990) 市街地周辺におけるツミの繁殖記録と営巣環境. 日本鳥学会誌, (39) : 35-39.
- 雁を保護する会 (1994) 圏央道とオオヒシトイについて. 雁のたより, (43) : 13-16.
- 濱田義治 (1966) イワミセキレイの記録. 野鳥, (243) : 401.
- 濱田義治・長廻哲雄・森田 進・石本賢治・安井賢次 (1994) 「しまねの野鳥II」. 123pp. 山陰中央新報社.
- 濱田義治・長廻哲雄・森田 進・佐藤仁志 (1984) 「しまねの野鳥」. 123pp. 山陰中央新報社.
- 林 宏・岡田 徹 (1992) わが国におけるコアジサシの繁殖状況. STRIX, (11) : 157-168.
- 林 正敏 (1982) 長野県におけるヤイロチョウの繁殖初記録. STRIX, (1) : 123-124.
- 日高敏隆監修／樋口広芳・森岡弘之・山岸 哲編 (1996a) 「日本動物大百科 鳥類I」. 182pp. 平凡社.

- 環境省自然環境局生物多様性センター (2011) 隠岐諸島. 平成22年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業 (モニタリングサイト1000) 海鳥調査業務報告書: 68-82.
- 環境省自然環境局生物多様性センター (2013) 平成24年度 (第44回) /都道府県別羽数確定値. ガンカモ類の生息調査.
- 環境省自然環境局野生生物課 (2010) 改訂レッドリスト付属説明資料. 鳥類.
- 環境省自然環境局野生生物課編 (2002) 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物一レッドデータブックー2鳥類」. 278pp.
- 叶内拓哉・安部直哉・植田秀雄 (1998) 「山溪ハンディ図鑑7 日本の野鳥」. 623pp. 山と渓谷社.
- 加藤琢矛 (1995) 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (3) 鳥類 (第1部). 隠岐の文化財, (12) : 1-29.
- 加藤琢矛 (1996) 木村コレクション隠岐産動物標本目録 (3) 鳥類 (第2部). 隠岐の文化財, (13) : 1-18.
- 川上和人 (2002) ミゾゴイが絶滅する日. 野鳥, 67 (6) : 13-15.
- 川上和人 (2005) サシバが空から消える時. BIRDER, 19 (6) : 30-33.
- 川上和人 (2009) ミゾゴイ. バードリサーチニュース, (6) 12: 4-5.
- 川上和人・樋口広芳 (2003) 日本の低山に生息するミゾゴイ *Gorsachius goisagi*, オオタカ *Accipiter gentilis*, サシバ *Butastur indicus* の個体数推移の推定 (英文). 山階鳥類学雑誌, 35: 19-29.
- 川上洋一 (2007) 「絶滅危惧の野鳥事典」. 232pp. 東京堂出版.
- 川本美千夫・澤田千晶・角永 登 (1993) オシドリによる橋脚の穴利用. STRIX, (12) : 231-233.
- 川名国男 (2012) 「ミゾゴイ～その生態と習性～」. 165pp. ジャパンプリント株式会社.
- 建設省中国地方建設局出雲工事事務所 (1997) 「斐伊川水系の鳥類」. 171pp.
- 桐原政志・山形則男・吉野俊幸 (2000) 「日本の野鳥550 水辺の鳥」. 351pp. 文一総合出版.
- 清棲幸保 (1978a) 「増補改訂版日本鳥類大図鑑I」. 652pp. 講談社.
- 清棲幸保 (1978b) 「増補改訂版日本鳥類大図鑑II」. 654pp. 講談社.
- 清棲幸保 (1978c) 「増補改訂版日本鳥類大図鑑III」. 536pp. 講談社.
- 国際湿地保全連合 (2012) 「世界の水鳥の個体群推定, 第5版 (the Waterbird Population Estimates online database)」
- 米田重玄 (1990) 繁殖期の行動を見る. アニマ, (212) : 36-38.
- 小海途銀二郎 (1974) 猛禽クマタカの巣を追って. アニマ, (15) : 5-18.
- 久野公啓 (2006) ハチクマってどんな鳥? ハチクマの八不思議. BIREDR, 20 (10) : 19-33.
- 吳地正行 (1983) 日本にはオオヒシクイのほうが多い. アニマ, (129) : 18-22.
- 黒田治男 (1991) ヤマセミのとまり場の利用様式. STRIX, (10) : 51-61.
- 真木広造・大西敏一 (2000) 「日本の野鳥590」. 654pp. 平凡社.
- 美馬秀夫・中村正博・中坂学夫 (1988) アカショウビンがスズメバチの古巣で繁殖. STRIX, (7) : 283-284.
- 宮林泰彦 (1994) 野生動物保護における国際協力－北東アジアにおけるガン類個体群の現状とその保護－. 雁のたより, (43) : 3-12.
- 森 茂晃・佐藤仁志 (2003) 斐伊川・神戸川水系におけるヤマセミの営巣状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 51-58.
- 森 茂晃・佐藤仁志 (2005) ヤマセミの造巣場所選択について. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) : 247-253.
- 森本 栄・飯田知彦 (1992) クマタカの生態と保護について. STRIX, (11) : 59-90.
- 森岡照明・叶内拓哉・川田 隆・山形則男 (1995) 「図鑑日本のワシタカ類」. 631pp. 文一総合出版.
- 中林光生 (1980) 湿田のタマシギ. アニマ, (86) : 13-19.
- 中村浩志 (2004) 「甦れ、ブッポウソウ」. 199pp. 山と渓谷社.
- 中村浩志 (2006) ブッポウソウの未来. BIRDER, 20 (6) : 20-29.
- 中村浩志・田畠孝宏 (1990) ブッポウソウの雛の食物. 日本鳥学会誌, (38) : 131-139.
- 中村登流・中村雅彦 (1995a) 「原色日本野鳥生態図鑑 <水鳥編>」. 304pp. 保育社.
- 中村登流・中村雅彦 (1995b) 「原色日本野鳥生態図鑑 <陸鳥編>」. 301pp. 保育社.
- 根岸啓二監修 (1978) 「島根県鳥類目録」. 島根県.
- 日本鳥学会 (2000) 「日本鳥類目録 改訂第6版」. 345pp.
- 日本鳥学会 (2012) 「日本鳥類目録 改訂第7版」. 438pp.
- 日本野鳥の会 (2009) カンムリウミスズメ事業報告 (1995年度～2008年度). 28p.
- 日本野鳥の会 (2010) カンムリウミスズメ保護プロジェクト 2009年事業報告. 47pp.
- 日本野鳥の会 (2011) カンムリウミスズメ保護プロジェクト 2010年事業報告. 48pp.
- 日本野鳥の会 (2013) カンムリウミスズメ保護プロジェクト 2012年事業報告. 30pp.
- 日本野鳥の会広島県支部 (1982) 西中国山地鳥類調査報告. STRIX, (1) : 113-119.
- 日本野鳥の会島根県支部 (1997) 「しまねの鳥」. 184pp.
- 日本野鳥の会山口県支部 (1990) 「山口県版鳥類繁殖地図調査報告書」. 337pp.
- 西村昌彦 (1979) カワセミとヤマセミの造巣場所選択について. 山階鳥類研究所研究報告書, (54) : 39-48.
- 大谷善啓・脇坂英弥 (1998) 島根県東部におけるヤマセミの営巣状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 231-234.
- 小川光昭・湯川 仁 (1976) 広島県備北地方の鳥類 (2). 比和町立科学博物館研究報告, (19) : 5-8.
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2009) 「岡山県版レッドデータブック2009 動物編」. 416pp.
- 阪本周一 (1991) 岩場を渡り歩くクロサギ. 日本の生物, (52) : 36-37. 文一総合出版.
- 佐藤仁志 (1989) 島根県のガン類. 雁のたより, (32) : 6-9.
- 佐藤仁志編 (1985) 「宍道湖の自然」. 179pp. 山陰中央新報社.
- 佐藤仁志・濱田義治・長廻哲雄 (1986) 大社町におけるミサゴの繁殖記録について. 島根野生生物研究会報, (4) : 54-55.
- 佐藤仁志・森 茂晃・八幡浩二 (2012) 隠岐諸島におけるカンムリ

## 両生類・爬虫類文献

- ウミスズメ*Synthliboramphus wumizusume*の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 299-306.
- 島田 忠 (1985) 緑の樹林に餌を求めるアカショウビン. アニマ, (148) : 68-72.
- 島根県 (1975) 「出雲砂質海岸島根県自然環境保全地域学術調査報告書」. 32pp.
- 島根県環境生活部景観自然課 (1997) 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 417pp.
- 島根県農林水産部林政課 (1970) 「島根県に分布する鳥類」. 74pp.
- 白木彩子 (2013) 北海道におけるオジロワシの繁殖の現状と保全上の課題. オホーツクの生態系とその保全 (桜井ほか編著) : 319-324.
- 鈴木 明 (2005) 希少猛禽類調査 (クマタカ) から見えてきたこと. BIRDER, 19 (2) : 32-33.
- 鈴木勝利・鶴田哲郎 (2012) 宮城県北部の湖沼におけるマガソ個体数の季節変化. 伊豆沼・内沼研究報告, (6) : 63-69.
- 高野伸二 (1980) 「野鳥識別ハンドブック」. 336pp. 日本野鳥の会.
- 高野伸二 (1981) 「カラー写真による日本産鳥類図鑑」. 481pp. 東海大学出版会.
- 高野伸二編 (1986) 「日本の野鳥」. 591pp. 山と渓谷社.
- 武下雅文 (1996) 日本におけるズグロカモメの生息記録. STRIX, (14) : 182-185.
- 鳥取県生物学会編 (2012) 「レッドデータブックとつり改訂版」. 337pp. 鳥取県生活環境部公園自然課.
- 内田 映 (1997) 「島根県の鳥類」. 75pp. 報光社.
- 内田 博・松田 喬 (1990) ヨシゴイの集団繁殖. 日本鳥学会誌, (39) : 53-61.
- 植田睦之 (1991) 都市近郊でツミを見るには. 日本の生物, (5) : 18-20. 文一総合出版.
- 植田睦之 (1996) ツミの繁殖成功率の低下とその原因. STRIX, (14) : 65-71.
- 植田睦之・遠藤孝一・東條一史・永石文明 (1991) オオタカ・ハイタカ・ツミ3種を比べる. 日本の生物, (50) : 22-29. 文一総合出版.
- 上野吉雄・保井 浩・山本 裕 (1996) 広島県芸北町の鳥類. 高原の自然史, (1) : 291-393.
- 山口県環境生活部自然保全課 (2002) 「レッドデータブックやまぐち 山口県の絶滅のおそれのある野生生物」. 511pp.
- 山本健次郎・三宅貞敏 (1992) 光市牛島におけるカラスバトの生息状況と生態. 山口県立山口博物館研究報告, (20) : 1-25.
- 山本浩伸・大畑孝二 (2000) 石川県片野鴨池におけるトモエガモの個体数変動と採食場所への飛びたち行動. STRIX, (18) : 55-63.
- 山階鳥類研究所編 (1975) 「この鳥を守ろう」. 285pp. 霞会館.
- 山崎 亨 (1992) クマタカ-多様な森林生態系を必要とする大型猛禽. アニマ, (242): 38.
- 米川 洋 (1987) 日本ハヤブサ物語. アニマ, (172): 82-85.
- 林成多 (2013) 隠岐諸島西ノ島の高崎山でオキタガエルを撮影. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 110.
- 平田市立鰐淵小学校猪目分校 (2000) 「カジカガエルと猪目分校の子どもたちII」. 64pp.
- 生駒義博編 (1973) 「日本ハンザキ集覧」. 478pp. 津山科学教育博物館.
- 岩田貴之・西川完途・松井正文・吉川夏彦 (2007) 島根半島のヒダサンショウウオについて. 爬虫両棲類学会報, 2007 (2) : 129-132.
- 井上明日香・秋吉英雄・内藤富夫 (2003) 島根県のタガガエル *Rana tagoi tagoi* の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 193-199.
- 川内一憲・藤井豊 (2010) 福井県でナガレタガエルを発見した経緯と状況について. 福井陸水生物会報, (17) : 7-15.
- 小原二郎 (1979) オオサンショウウオ. 「第2回自然環境保全基礎調査・動物分布調査報告書 (両生類・は虫類) 全国版」: 41-45. 日本自然保護協会.
- 前田憲男・松井正文 (1989) 「日本カエル図鑑」. 223pp. 文一総合出版.
- 前田憲男・松井正文 (1999) 「改訂版日本カエル図鑑」. 223pp. 文一総合出版.
- 松橋利光・奥山風太郎 (2002) 山溪ハンディ図鑑9「日本のカエル」. 191pp. 山と渓谷社.
- 松野 煉・大氏正巳 (1979) 飼育下におけるオオサンショウウオ *Megarobatorachus japonica* (Temminck) 幼生の成長. 山陰文化研究紀要, (19) : 105-115.
- 松野 煉 (1997) オオサンショウウオ. 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」: 122-123. 島根県環境生活部景観自然課.
- 瑞穂町教育委員会編 (1995) 「ザ・ハンザケシンポジウム in 瑞穂 報告書」. 86pp. 瑞穂町.
- 瑞穂町教育委員会編 (1999) 「瑞穂町エコミュージアムシンポジウム報告書」. 47pp.
- 内藤順一 (2013) 船通山の小型サンショウウオ. 比婆科学, (247) : 1-6, 3pls.
- 野津 大 (1983) 「隠岐の生物」. 245 pp. 読売新聞社松江支局.
- 岡田 純・田中 浩・徳永浩之・岡田珠美 (2009) 中国地方西部からのナガレタガエルの初記録. 爬虫両棲類学会報, 2009 (2) : 101-103.
- 大野正男 (1991) 日本産主要動物の文献目録 (23) オオサンショウウオ (1). 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (35) : 61-135.
- 大氏正巳 (1978) オキサンショウウオに関する知見. 動物と自然, 8 (9) : 25-29.
- 大氏正巳 (1988) 「島根の環境保全」. 270pp. 島根県環境保健部.
- 大氏正巳・松野 煉 (1976) 島根県におけるオオサンショウウオについて. 山陰文化研究紀要, 16: 1-11. 島根大学.
- 大氏正巳・松野 煉 (1976) 島根県におけるオオサンショウウオ *Megarobatorachus japonicus* (Temminck) について. 山陰

- 文化研究紀要, (16) :1-11.
- 大氏正巳・松野 煉・枚村喜則・稻葉 茂(1977) 島根県能義郡広瀬町西谷川に棲息するオオサンショウウオ *Megarobatorachus japonicus* (Temminck) の行動について. 山陰文化研究紀要, (17) :109-116.
- 大氏正巳・松野 煉・枚村喜則・稻葉 茂(1979) 飼育下におけるオオサンショウウオ *Megarobatorachus japonicus* (Temminck) 幼生の成長. 山陰文化研究紀要, (19) : 105-115.
- 佐藤井岐雄(1943)「日本産有尾類総説」. 520pp. 日本出版社.
- 島田孝(2005) 隠岐島前の西ノ島からオキタガエルの初記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) : 218.
- 島根県編(1975) オオサンショウウオ生息地. 「自然環境保全地域学術調査報告(候補地)2」: 28.
- 島根県邑智郡瑞穂町教育委員会編(1995)「特別天然記念物オオサンショウウオ生息分布調査報告書」. 24pp. +18figs.
- 玉湯町教育委員会(2002)「玉湯のモリアオガエル-社会教育施設の機能向上を図るための事業実施報告書」. 12pp.
- 内山りゅう・前田憲男・沼田研児(2002)「日本の両生爬虫類」. 335pp. 平凡社.
- 研究」. 3-46. 中央公論社.
- 石川正樹・久米 学(2010) イトヨ日本海型と太平洋型の高水温耐性実験. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 265-268.
- 石飛 裕・平塚純一・桑原弘道・山室真澄(2000) 中海・宍道湖における魚類および甲殻類相の変動. 陸水学雑誌, 61 (2) : 129-146.
- 岩田正俊(1934) 大根島溶岩隧道内の動物相. 日本学術協会報告, 9 (2) : 301-304.
- 岩田明久(1999) 遺伝的に著しく異なるドンコ2グループの高津川水系およびその近隣河川における分布. 魚類学雑誌, 46 (2) : 109-114.
- Iwata A. and H. Sakai (2002) *Odontobutis hikimius* n. sp.: A new freshwater Goby from Japan, with a key to species of the genus. *Copeia*, 2002 (1) : 104-110.
- 神代哲朗(1963) 益田市遠田川のイトヨに就いて. 「高津川総合学術調査研究報告」: 112-113. 島根県立益田高等学校.
- 神代哲朗(1965) 高津川の魚類(補遺). 「高津川総合学術調査研究報告/補編」: 42-44. 島根県立益田高等学校.
- 神代哲朗・波多野捷二・椋 勇三(1963) 高津川の魚類. 「高津川総合学術調査研究報告」: 77-97. 島根県立益田高等学校.
- 上田常一(1967)「宍道湖の動物たち」: 51-118. 上田常一先生退官記念事業会.
- 環境省自然環境局野生生物課(2003)「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-4汽水・淡水魚類」. 230pp. 財団法人自然環境研究センター.
- 環境庁(1987) 第3回自然環境保全基礎調査「河川調査報告書32」. 99pp.
- 河端政一(1976) 食性から見たヤマメとゴギの相互関係. 「山岳森林生態学 今西錦司博士古希記念論文集」: 417-432. 中央公論社.
- Kawanabe H., Y. Tezuka Saito, T. Sunaga, I. Maki and M. Azuma (1968) Ecology and Biological Production of Lake Naka-umi and Adjacent Reagions. 4. Distribution of Fishes and their Foods. *Spec. Publ. Seto Mar. Biol. Lab.* Series II. Part II : 45-73.
- 川那部浩哉(1969) 中海水系の魚たち. 「川と湖の魚たち」: 60-82. 中央公論社.
- 川那部浩哉・水野信彦(1989)「日本の淡水魚」. 720pp. 山と溪谷社.
- 北川忠生・吉岡 基・柏木正章・岡崎登志夫(2000) ミトコンドリアDNA分析からみた中国地方におけるイシドジョウ河川集団間の遺伝的分化. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 63-72.
- Kitagawa, T., Watanabe, M., Kobayashi, T., Yoshioka, M., Kashiwagi, M. and T. Okazaki (2001) Two genetically divergent groups in the Japanese spined loach, *Cobitis takatsuensis*, and their phylogenetic relationships among Japanese *Cobitis* inferred from mitochondrial DNA analyses. *Zoological Science*, 18 (2) : 249-259.
- 越川敏樹(1983) 変わりゆく宍道湖と中海(気になる魚カワヤツメ・イトヨ). 淡水魚, (9) : 76-81.
- 越川敏樹(1989) 汽水域に生息するハゼ科魚類の分布形態について.

## 汽水・淡水魚類文献

- Aizawa, T., Hatsumi, M., and K. Wakahama (1994) Systematic study on the *Chaenogobius* species (family Gobiidae) by analysis of allozyme polymorphisms. *Zoological Science*, 11 (3) : 455-465.
- Arai, R., Fujikawa, H. and Y. Nagata (2007) Four New Subspecies of *Acheilognathus* Bitterlings (Cyprinidae: Acheilognathinae) from Japan. *Bull. Natl. Mus. Nat. Sci. Ser. A, Suppl. 1*, pp. 1-28.
- 道津喜衛(1989) シンジコハゼ(仮称)の生態と種苗生産. 「ハゼ科魚類の保護・移植に関する研究成果報告書」: 1-14.
- 江田伸司・坂本明弘(1993) 隠岐の淡水魚類調査. 倉敷市立自然史博物館研究報告, (8) : 47-50.
- 後藤悦郎・三浦常廣・森山 勝(2002) 淡水魚増殖試験 -ゴギ種苗生産試験-. 島根県内水面水産試験場事業報告, (4) : 187-190.
- 林 成多・山口勝秀・中野浩史・寺岡誠二・越川敏樹(2007) 出雲平野の水路における水生生物調査(2005年). ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 1-18.
- Higuchi, A. and A. Goto (1996) Genetic evidence supporting the existence of two distinct species in the genus *Gasterosteus* around Japan. *Environ. Biol. Fish.*, 47 : 1-16.
- 樋口正仁(2003) 日本列島周辺のイトヨ族魚類の遺伝的多様性と分化. Pages 49-60 in 後藤 晃・森 誠一編, トゲウオの自然史-多様性の謎とその保全-. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- 平塚純一(1988) 大根島の幻のメクラハゼ近況. 島根野生生物研究会会報, (4) : 29-30.
- 平塚純一・桑原弘道(2000) 中海本庄水域の魚類相とその特性. 陸水学雑誌, 61 (2) : 109-118.
- 今西錦司(1967) イワナ属その日本における分布. 「自然生態学的

- て、「公益信託Takaraハーモニストファンド平成元年度研究活動報告」: 101-114.
- 越川敏樹 (1992) 宍道湖・中海水域におけるハゼ類の分布(1)-チチブ属4種とウキゴリ属2亜種について-. 汽水湖研究, (2): 49-56.
- 越川敏樹 (1997a) 汽水魚・淡水魚. 「しまねレッドデータブック・動物編」. 142-143. 島根県景観自然課
- 越川敏樹 (1997b) 中海本庄水域の魚類. LAGUNA, (4): 19-27.
- 越川敏樹 (1998) 本庄工区と北部承水路浅域における底生魚類相. 汽水湖研究, (6): 35-40.
- 越川敏樹 (1999) 中海南岸域における魚類の生息状況-安来市論田における小型定置網の漁獲内容から-. ホシザキグリーン財団研究報告, (3): 239-249.
- 越川敏樹 (2000) 中海における魚介類の生息状況の変遷-小型定置網漁の10数年間の変化より-. ホシザキグリーン財団研究報告, (4): 203-214.
- 越川敏樹 (2001) 中海北東部3地点における底棲性魚類の分布の比較. ホシザキグリーン財団研究報告, (5): 131-138.
- 越川敏樹 (2011) 宍道湖・中海における魚類の減少状況-減少のいちじるしい10種の傾向から-ホシザキグリーン財団研究報告, (14): 319-325.
- 越川敏樹・佐藤仁志 (1986) 宍道湖に生息するウキゴリ属の1種(第1報). 淡水魚, (12): 51-55.
- 越川敏樹・佐藤仁志・水野信彦 (1985) 島根県におけるヨシノボリのすみ分け. 淡水魚, (11): 100-107.
- 越川敏樹・田中幾太郎 (1997) 汽水魚・淡水魚. 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 138-167. 島根県環境生活部景観自然課.
- 松浦啓一 (1994) 「国立科学博物館淡水魚類標本目録 旧資源科学研究所標本(3)」. 335pp.
- 松浦啓一・土井 敦・篠原現人 (2000) 「国立科学博物館所蔵標本に基づく日本産淡水魚類の分布」. 256pp.
- 宮地伝三郎編 (1962) 「中海干拓・淡水化事業に伴う魚族生態調査報告」. 50-57, 149-179.
- 宮地傳三郎・川那部浩哉・水野信彦 (1976) 「原色日本淡水魚類図鑑」. 462pp. 保育社.
- 瑞穂町教育委員会編 (1990) 「江川水系出羽川オヤニラミ生息調査報告書」. 8pp.
- 水野信彦 (1972) 高津川水系での魚類の棲息状態. 「高津川水系の生物に関する総合開発調査」: 113-212. 島根県漁政課.
- 長田芳和・藤川博史 (1998a) アカヒレタビラ. 「日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料(V)」: 20-24. 日本水産資源保護協会.
- 長田芳和・藤川博史 (1998b) アカヒレタビラ. 水産庁編「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」: 120-121. 日本水産資源保護協会.
- 長田芳和・藤川博史・福原修一 (1981) 鳥取県多鯰が池で採集されたアカヒレタビラについて. 日本生物地理学会報, 36: 48-53.
- 中坊徹次編 (2013) 「日本産魚類検索全種の同定第三版」. 2428pp. 東海大学出版会.
- Nakajima, J. (2012) Taxonomic study of the *Cobitis striata* complex (*Cypriniformes, Cobitidae*) in Japan. Zootaxa, 3586 : 103-130.
- 中島 淳・州澤 讓・清水孝昭・斎藤憲治 (2012) 日本産シマドジョウ属魚類の標準和名の提唱. 魚類学雑誌, 59 (1) : 86-95.
- 中村守純 (1969) アカヒレタビラ. 「日本のコイ科魚類」: 42-44. 資源科学研究所, 東京.
- 中村守純 (1993) 「原色日本淡水魚検索図鑑」. 262pp. 北隆館.
- 日本水産資源保護協会編 (1998) 「日本の希少な野生水生生物に関するデータブック」. 437pp. 水産庁.
- 野津 大 (1983) 「隠岐の動物」: 64-68. 読売新聞社松江支局.
- 農水省編 (1983) 宍道湖・中海の魚類. 「宍道湖・中海淡水化に関する水理水質及び生態の挙動について-中間報告-」: 625, 635-638.
- Oshiumi, C. and J. Kitamura (2009) The reproductive ecology of the southern red tabira bitterling *Achelognathus tabira jordani* in Japan. Journal of Fish Biology, 75, 655-667
- 鶴海智佳・北村淳一・星川和夫 (2003) アカヒレタビラ山陰地域個体群の生活史. 2003年度魚類学会年会講演要旨: 66.
- 碓井星二・加納光樹・荒山和則・中里亮治 (2010) 北浦の沿岸帶におけるクルメサヨリ仔稚魚の生息場所利用パターン. 日本生物地理学会会報, (65) : 29-38.
- 斎藤憲治・藤川博史・長田芳和 (1988) 島根県大田市大原川から採取されたアカヒレタビラ. 日本生物地理学会, 43: 57-60.
- 酒井治己・矢部 衛 (2003) トゲウオ科魚類の現状と問題点. Pages 23-45 in 後藤 晃・森 誠一編, トゲウオの自然史-多様性の謎とその保全-. 北海道大学図書刊行会, 札幌.
- Sakai, H., Iwata, A., Byeon, H-K. (2002) Genetic relationships between Japanese and Korean *Odontobutis obscura*. Biogeography, (4) : 39-44.
- Saitoh, K. and Aizawa, H. (1987) Local Differentiation within the Striated Spined Loach (the *striata* Type of *Cobitis taenia* Complex). Japanese Journal of Ichthyology, 34, 334-345.
- 佐藤仁志 (1989) 島根県におけるウキゴリ属の一種*Chaenogobius taranetzi*について. 島根野生生物研究会報, (6) : 26-33.
- 佐藤仁志編 (1985) 「宍道湖の自然」. 180pp. 山陰中央新報社.
- 佐藤仁志・林 公義・岩田明久 (2001) 宍道湖とシンジコハゼ. 14-17. In: 山口勝秀・佐々木興・淀江賢一郎 (編) 「宍道湖自然館第1回特別展 ハゼのなかまたち 展示解説 ハゼの世界に多様性を見る」. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス/(財)ホシザキグリーン財団. 34pp.
- 島根県 環境生活部景観自然課 (1997) 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 417pp.
- 島根県河川課 (1999a) 「江の川水系河川水辺の国勢調査(魚介類編)八戸川・家古屋川・出羽川」. 49pp.
- 島根県河川課 (1999b) 「高津川水系河川水辺の国勢調査(魚介類編)高津川・白上川・匹見川・津和野川」. 27pp.
- 島根県景観自然課 (1982) 「河川調査報告書-三刀屋川・三隅川・三瓶川・匹見川」. 127pp.
- 島根県景観自然課 (1991) 「河川調査報告書-飯梨川・神戸川・周布川・静間川・伯太川・三隅川・八戸川・出羽川」. 148pp.

- 島根県景観自然課 (1994) 「河川調査報告書-意宇川・田儀川・敬川・浜田川・益田川-」. 63pp.
- 島根県景観自然課 (1995a) 「河川調査報告書-隱岐諸島-」. 99 pp.
- 島根県景観自然課 (1995b) 汽水・淡水魚類15種. 「島根県の貴重野生動植物リスト」. 34pp.
- 島根県景観自然課 (1997) 「河川調査報告書(島根半島)」. 88 pp.
- 島根県景観自然課 (1998) 「河川調査報告書(江の川水系)-小谷川・晩谷川・三谷川・早水川・沢谷川・角谷川・細貝川・堂所川・亀谷川-」. 67pp.
- Stevenson, D. E. (2002) Systematics and distribution of fishes of the Asian goby genera *Chaenogobius* and *Gymnogobius* (Osteichthyes: Perciformes: Gobiidae), with the description of a new species. *Species Diversity*, 7 (3) : 252-312.
- 鈴木寿之・陳 義雄 (2011) 田中茂穂博士により記載されたヨシノボリ属3種. 大阪市立自然史博物館研報. 65:9-24.
- 田中幾太郎 (1982) 「消えゆく六日市の野生動物」: 11-33. 自刊.
- 田中幾太郎 (1996) 「いのちの森・西中国山地」: 37-83. 光陽出版社.
- Yamada, M., M. Higuchi and A. Goto (2001) Extensive introgression of mitochondrial DNA found between two genetically divergent forms of threespine stickleback, *Gasterosteus aculeatus*, around Japan. *Environ.Biol. Fish.*, 61 : 269-284.
- 山口勝秀 (1999) 島根県の淡水魚(既報の整理). ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 1-38.
- 山口勝秀 (2003) 島根県におけるカワアナゴの初採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 64.
- 安江安宣 (1967) 奥出雲のイワナ-世界的にみたゴギの問題点-. 釣りの友, (198) : 40-45.
- 安江安宣 (1981) 南限地帯のイワナ. 「別冊フィッシング-イワナ・ヤマメ」: 59-66.
- 吉郷英範 (2001) 隠岐島後で採集された陸水域の魚類. 比和科学博物館研究報告, (40) : 1-15. +3pls.
- 吉郷英範・内藤順一・中村慎吾 (2001) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録. 比和科学博物館標本資料報告, (2) : 119-168.
- 吉郷英範・中村慎吾 (2002) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録(II). 比和科学博物館標本資料報告, (3) : 85-136.+ 1pl.
- 吉郷英範・中村慎吾 (2003) 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録(III). 比和科学博物館標本資料報告, (4) : 31-75.
- (財)ホシザキグリーン財団監修 (2002) 「みんなの宍道湖~自然観察ガイドブック~」. 143pp.
- 秋山耕治 (2006) 思わずに入り込まう島根県. SPINDA, (21) : 33-36.
- 秋山達朗 (1973) 私の採集した島根県の鞘翅類目録. 遷摩高校研究紀要, (4) : 92-96.
- 秋山達朗 (1974) 私の採集した島根県の鱗翅類目録. 遷摩高校研究紀要, (5) : 1-6.
- 秋山美文・坂本 充 (2000) 広島県の水生食肉甲虫類(コウチュウ目, オサムシ上科). 比和科学博物館研究報告, (39) : 5-33.
- Anderson, N. M. and J. R. Spence (1992) Classification and phylogeny of the Holarctic water strider genus *Limnoporus* Stal (Hemiptera, Gerridae). *Can. J. Zool.*, 70 : 753-785.
- 青木英勝 (1963) 高津川周辺の蝶類分布. 「高津川総合学術調査研究報告」: 115-117.
- 青木新吾 (2010) 島根県初記録となるエゾコガムシの記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 110.
- 青木新吾・川野敬介 (2010) 島根県2例目となるムツボシツヤコツブゲンゴロウの記録. (13) : 82.
- 青戸 賢 (1973) ヒサマツミドリシジミを内尾谷で採集. Longicorn, (5) : 12.
- 有田 齊・前田善広 (2012a) 「珠玉の標本箱(1)ウラキンシジミ・アイノミドリシジミ・メスアカミドリシジミ・ヒサマツミドリシジミ」. 33pp.
- 有田 齊・前田善広 (2012b) 「珠玉の標本箱(2)ミドリシジミ・クロミドリシジミ・ヒロオビミドリシジミなど」. 37pp.
- 有田 齊・前田善広 (2012c) 「珠玉の標本箱(4)キマダラルリツバメ」. 37pp.
- 朝比奈正二郎 (1965) 「原色日本昆虫大図鑑III」. 358pp. , 156pls. 北隆館.
- 朝比奈正二郎 (1974) 島根県産モイワサナエの正体. TOMBO, (17) : 23.
- 浅野 隆・小椋英勇 (2000) 中国山地のオナガシジミの変異. 蝶研フィールド, 7 (15) : 15-19.
- 伴 一利 (2010) マンシュウアカネを島根県で採集. 山口のむし, (9) : 152.
- 近木英哉 (1962) 島根県の昆虫目録I鱗翅目. 島根農科大学研究報告, 10 (A) : 36-45.
- 近木英哉 (1963) 島根県の昆虫目録III鞘翅目(コガネムシ科). 島根農科大学研究報告, 12 (A) : 24-31.
- 近木英哉 (1971a) 「山陰の蝶」松江今井書店. 145pp.
- 近木英哉 (1971b) 三瓶の昆虫. 「三瓶山の自然」: 46-53.
- 近木英哉 (1974) 赤名湿地性植物群落の昆虫. 「自然環境保全地域候補地学術調査報告書第1集」: 22-28.
- 近木英哉 (1977) 浅利黒松海岸の昆虫. 「島根県自然環境保全地域候補地学術調査報告書第4集」: 17-34.
- 近木英哉 (1980a) 島根県のガロアムシ. すかしば, (14) : 1-2.
- 近木英哉 (1980b) 「島根半島の昆虫(改訂版)」. 86pp.
- 近木英哉 (1980c) 隠岐島の昆虫. 自然環境保全地域候補地学術調査報告書(第2集) : 35-39.
- 近木英哉 (1981) 「山陰の虫たち」. 205pp. 近木英哉教授定年退官記念事業会.
- 近木英哉 (1985) 島根県におけるルリクワガタ属について. すかし

## 昆虫類文献

相田正人 (1989-1990) 濃尾平野のナゴヤサナエ(1)~(7). 月刊むし, (211) : 9-13., (223) : 8-13., (227) : 11-15., (230) : 12-15., (232) : 20-25., (234) : 12-18., (236) : 11-17.

- ば, (24) : 8.
- 近木英哉 (1987) 「三瓶山の昆虫」. 32pp. たたら書房.
- 近木英哉 (1992) 江津市でベーツヒラタカミキリを採集. すかしば, (37/38) : 66.
- 近重克幸・福井修二・鈴木謙治・山崎克友 (1988) 鵜飼半島・ホン・シエウジカの糞に集まる食糞性コガネムシ. すかしば, (30) : 45-48.
- 土畠重人・淀江賢一郎・奥島雄一 (2008) 島根県産ヒメシロチョウ標本の発見と記録の検証. すかしば, (56) : 65-77.
- 江崎悌三 (1941) 隠岐に於ける注目すべき二三の昆虫. 動物学雑誌, 53 (6) : 303-305.
- 江崎悌三ほか (1957) 「原色日本蛾類図鑑」. Vol.1:1-318, pls.1-64; Vol.2:1-304, pls.65-136. 保育社.
- 筆谷憲一 (2007) 島根県・鳥取県・岡山県北部の蝶観察記録2006年. すかしば, (55) : 41-43.
- 筆谷憲一 (2008) 島根県・岡山県・山口県の蝶観察記録2007年. すかしば, (56) : 27-28.
- 筆谷憲一 (2009) 島根県・鳥取県・岡山県北部の蝶観察記録2008年. すかしば, (57) : 4-5.
- 筆谷憲一 (2010) 島根県・鳥取県・岡山県北部・広島県北部の蝶観察記録2009年. すかしば, (58) : 14-15.
- 筆谷憲一 (2013) 蝶たちとの出会いを求めて 山陰および隣接地域2011年～2012年. すかしば, (60) : 36-37.
- 藤井正治 (2003) 安来市佐久保町の野生生物相第II報コウチュウ目その他の採集目録. すかしば, (51) : 17-29.
- 藤村俊彦 (1957) いざも虫だより. 新昆虫, 10 (5) : 20-24.
- 藤村俊彦 (1959) モイワサナエ, 島根県に産す. 新昆虫, 12 (5/6) : 45.
- 藤村俊彦 (1960) 知られざる中国地方の好採集地I. Insect Magazine, (48) : 23-26.
- 藤村俊彦 (1966a) 隠岐島未記録のカミキリムシ (III). 昆虫, 34 (2) : 157.
- 藤村俊彦 (1966b) 島根県のカミキリムシ. 比和科学博物館研究報告, (9) : 9-17.
- 藤村俊彦 (1969) 島根県のギフチョウ. 昆虫と自然, 4 (4) : 38.
- 藤岡知夫 (1981) 「改訂増補・日本産蝶類大図鑑」. 図版編152pls., 解説編329pp.. 資料編163pp. 講談社.
- 藤岡知夫 (1998) 世界のホシミスジの地理変異-2新亜種の記載を含む. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 263-274.
- 藤岡知夫・築山洋・千葉秀幸 (1997) 「日本産蝶類及び世界近縁種大図鑑・I」. 図版編162pls., 解説編302pp., 資料編196pp. 出版芸術社.
- 藤田 宏 (2007) 島根県・隠岐島後のハナカミキリ2種. 月刊むし, 454:11.
- 藤田 宏 (2010) 「世界のクワガタムシ大図鑑」解説編472pp. むし社.
- 藤田 宏 (2013) 「藤田宏の解体虫書」. 168pp. むし社.
- 藤原淳一 (2008) 松江市島根町でネグロクサアブを採集. すかしば, (56) : 26.
- 藤原淳一・沼田京子 (2009) 隠岐諸島および島根半島の流水性甲虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 259-272.
- 福田晴夫ほか (1982) 「原色日本蝶類生態図鑑 I」. 277pp. 保育社.
- 福田晴夫ほか (1983) 「原色日本蝶類生態図鑑 II」. 325pp. 保育社.
- 福田晴夫ほか (1984a) 「原色日本蝶類生態図鑑 III」. 373pp. 保育社.
- 福田晴夫ほか (1984b) 「原色日本蝶類生態図鑑 IV」. 373pp. 保育社.
- 福井修二 (1979) 私が採集した島根県のカミキリムシ. すかしば, (12) : 31-32.
- 福井修二 (1987) 松江市のオオハナカミキリの記録. すかしば, (27) : 10.
- 福井修二 (1988) 隠岐諸島甲虫採集リスト (1988.6). すかしば, (30) : 39-41.
- 福井修二 (1990) 赤来町でオオキノコムシを採集. すかしば, (34) : 17.
- 福井修二 (1994a) 瑞穂町の甲虫類. 「島根県瑞穂町の昆虫類」: 27-37. 島根県昆虫研究会.
- 福井修二 (1994b) 三瓶山の鞘翅目. 「三瓶山の昆虫相とその保全」: 31-57. 島根県昆虫研究会.
- 福井修二 (2006) 飯南町でゲンバイトンボが採集される. すかしば, (55) : 50.
- 福井修二 (2012a) ケンランアリノスアブの採集記録. すかしば, (59) : 39-40.
- 福井修二 (2012b) ショウリヨウバッタモドキの記録. すかしば, (59) : 43.
- 福井修二・鬼頭剛・鈴木謙治・山崎克友 (1989) 匹見産昆虫目録 4. 匹見町の鞘翅目 (2). すかしば, (31) : 13-18.
- 福間一雅 (1996) ハネビロエゾトンボ採集の報告. すかしば, (43/44) : 51.
- 二橋 亮・二橋弘之 (2002) イソアカネ極東亜種 (マンシュウアカネ) の日本国内における記録. Tombo, (45) : 29-30.
- 後藤和夫・田中正文 (1989) クロミドリシジミの新分布地. 山口県の自然, 5 (9) : 45-46.
- 後藤雅人 (1969) ゴマシジミの新産地. NECYDALIS, 2 (5) : 18.
- 後藤 伸 (1987) 和歌山県産ハネナガウンカ類. 南紀生物, 29 (1): 58-61.
- 浜田 康・井上 清 (1985) 「日本産トンボ大図鑑」. 図版編371pls., 解説編 364pp. 講談社.
- 波根康夫 (1957) クロシジミの採集記録. 千鳥, (3) : 29.
- 長谷川仁 (1965) シリアカハネナガウンカ. 「原色昆虫百科図鑑」: 338.集英社, 東京.
- 長谷川道明 (2011) 昆虫類IV. 豊橋市立自然史博物館所蔵日本産チョウ類標本目録 I. 豊橋市立自然史博物館資料集, (23) : 1-163.+4pls.
- 橋本説朗 (2007) 日本のヒメシジミの変異. 蝶研フィールド, (252) : 15-30.
- 端山 武 (2010a) 島根県益田市喜阿弥海岸からのウミミズギワゴミムシ (コウチュウ目オサムシ科) の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 147-148.
- 端山 武 (2010b) 島根県出雲市坂浦海岸からのイソハサミムシ (ハサミムシ目ハサミムシ科) の記録. ホシザキグリーン財団

- 研究報告, (13) : 149-150.
- 端山 武 (2010c) 島根県におけるイソジョウカイモドキ (コウチュウ目ジョウカイモドキ科) の採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 151-154.
- 端山 武 (2012a) 浜山公園のオオヒヨウタンゴミムシの記録. すかしば, (59) : 29.
- 端山 武 (2012b) 隠岐の島町のウミミズカムシの記録. すかしば, (59) : 38-39.
- 林 匡夫・森本 桂・木元新作 (1984) 原色日本甲虫図鑑IV 438 pp. 保育社
- 林 成多 (2005) 「改訂しまねレッドデータブック」に掲載された直翅類の観察記録. すかしば, (53) : 38-39.
- 林 成多 (2006a) オオヒヨウタンゴミムシ成虫の出現時期について. すかしば, (54) : 65.
- 林 成多 (2006b) 飯南町赤名のツヤネクイハムシとババスゲヒメゾウムシ. すかしば, (54) : 65.
- 林 成多 (2006c) 「改訂しまねレッドデータブック」に掲載された直翅類の観察記録 (その2). すかしば, (54) : 66-67.
- 林 成多 (2007a) 島根県におけるバッタ・コオロギ・キリギリス類の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 119-141.
- 林 成多 (2007b) 島根県雲南市木次町ふるさと尺の内公園の昆虫相 (2) レッドデータブック掲載種と希少種の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 225-229.
- 林 成多 (2009a) 「大万木山産キュウシュウエゾゼミ」の標本はコエゾゼミ. すかしば, (58) : 16.
- 林 成多 (2009b) 日本産ヒラタドロムシ科概説. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 35-85.
- 林 成多 (2010) 島根県産カミキリムシ類の文献記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 17-43.
- 林 成多 (2011a) 島根県のセミ類に関する知見. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 87-96.
- 林 成多 (2011b) 島根県の水生甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (1) : 1-117.
- 林 成多 (2012a) 山陰のダルマガムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 53-63.
- 林 成多 (2012b) 島根県の海浜におけるアリジゴク4種の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 201-206.
- 林 成多 (2012c) 島根県松江市大橋川産のツマグロマルハナノミについて. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 248.
- 林 成多 (2012d) 島根県松江市でバッキンガムカギアシゾウムシを採集. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 274.
- 林 成多 (2013) 島根県の海岸性甲虫. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (9) : 1-98.
- Hayashi, M. (2007) Ecological notes on the adult stage of *Graphelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae). Elytra, Tokyo, 35 (1) : 102-107.
- Hayashi, M. (2013) Descriptions of Larva and Pupa of *Graphelmis shirahatai* (Nomura) (Coleoptera, Elmidae). Elytra, New Series, 3 (1) : 53-63.
- Hayashi, M., S. D. Song and T. Sota (2013) Patterns of hind-wing degeneration in Japanese riffle beetles (Coleoptera: Elmidae). Eur. J. Entomol. 110 (4) : 689-697.
- 林 成多・門脇久志 (2012) 隠岐諸島の甲虫目録 (1930-2011). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (5) : 1-120.
- 林 成多・門脇久志 (2013) 隠岐諸島産直翅系昆虫類 (昆虫綱多新翅亞節) の目録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 75-90.
- 林 成多・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2011) 隠岐諸島における昆虫類分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 299-306.
- 林 成多・松田隆嗣・門脇久志・深谷 治・近見芳恵 (2012) 隠岐諸島における昆虫分布調査Ⅱ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 287-297.
- 林 成多・初宿成彦・八木 剛・曾田貞滋・岩井大輔 (2003) 中国山地およびその周辺地域における湿地性ハムシ類の保全生物学的研究. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 1-25.
- 林 成多・山口勝秀 (2012) グンバイトンボを旧瑞穂町内で確認. すかしば, (59) : 33.
- 林 成多・門脇久志・松田隆嗣・深谷 治・近見芳恵 (2013) 隠岐諸島における昆虫類分布調査 (2009-2012年調査のまとめ). ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 1-73.
- 林 成多・藤原淳一・島田 孝・米田友祐・六車恭子・成田行弘 (2006) 隠岐諸島の昆虫相に関する一資料. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 245-263.
- 林 成多・宮武頼夫 (2012) 山陰地方のキジラミ図鑑. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (6) : 1-97.
- 林 成多・宮武頼夫・門脇久志 (2011) 島根県のキジラミ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 213-250.
- 林 正美 (1998) 埼玉県の半翅類. 埼玉県昆虫誌I : 147-234.
- 林 正美 (1999) キノカワハゴロモの本州および九州からの記録. Rostraria, (48) : 38.
- 林 正美・税所康正 (2011) 「日本産セミ科図鑑」. 220pp. 誠文堂新光社, 東京.
- 林 長閑編 (1985) 「生物大図鑑 昆虫II甲虫」. 399pp. 世界文化社.
- 林 長閑 (1986) 「甲虫の生活」. 177pp. 築地書館.
- 林原毅一郎 (1992) 知夫里島のカムムシ類. すかしば, (37/38) : 61-63.
- 平野幸彦 (1989) *Micropeplus satoi* Y. Watanabe (ハネカクシ科) 隠岐に産す. 甲虫ニュース, (81) : 3.
- 平島義宏監修 (1989) ガロアムシ目. 「日本産昆虫総目録」: 61. 九州大学農学部昆虫教室・日本野生生物研究センター.
- 平嶋義宏・緒方一夫 (1992) 昆虫, この素晴らしい生き物たち. 「昆虫採集学」: 7-121.
- 平田信夫 (1990) 昭和20年代の島根県のカミキリムシ目録. すかしば, (34) : 1-11.
- 広江寅三 (1931) 三瓶山採集行. ユーグレナ, 2 (3) : 17-19.
- 広島県 (1995) 「広島県の絶滅のおそれのある野生生物」. 437pp.
- 広渡一成・渡辺一雄 (2000) 西日本産ギフチョウ *Leuhedorfia japonica* のミトコンドリアND5遺伝子に認められたスニップス (一塩基多型: SNPs) とその意味. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 215-224.
- 蛭川憲男 (1985) 「日本の昆虫2. クロシジミ」. 145pp. 文一総合出版.

- 日浦 勇 (1962) 日本におけるジャノメチョウ科の採集記録. 大阪市立自然史博物館業績, (74) : 29-63.
- 日浦 勇・宮武頼夫ほか (1977) 「原色日本昆虫図鑑 下巻」. 385pp. 保育社.
- 星川和夫 (1994) 瑞穂町の蛾類群集. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 瑞穂町の昆虫類」: 58-71.
- 星川和夫 (2001) ウスイロヒヨウモンモドキ三瓶山個体群の保全計画(試案). 淀江賢一郎編「ウスイロヒヨウモンモドキの衰亡と保護・激減する草原性チョウ類の保護をめざして-結果報告書」: 81-84.
- 星川和夫 (2005) 三瓶山のウスイロヒヨウモンモドキ: モニタリングの結果と保全対策. 島根県立三瓶自然館研究報告, (3) : 89.
- 星川和夫ほか (1994) 三瓶山の環境構造: 蛾類相からの解析. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 三瓶山の昆虫相とその保全」: 113-140.
- 星川和夫・門脇和也 (2003) イワタメクラチビゴミムシの追加記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 98.
- 星川和夫・中蘭洋行 (2005) 三瓶山のウスイロヒヨウモンモドキ: モニタリングの結果と保全対策の概要. 日本鱗翅学会中国支部報, (6) : 5.
- 星川和夫・小倉久和 (1998) 松江市近郊の植生の異なるため池における水生昆虫群集. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 235-253.
- 星川和夫・津下麻樹 (1998) 西日本におけるマクガタテントウの生活史—分布南限における気候適応の破綻—. 中国昆虫, (12) : 31-35.
- 星川和夫・森 孝之 (2000) 西日本におけるカワトンボ属2種の河川空間利用: ある混生地における移植実験の結果から. New Entomol., 49 (1/2) : 18-25.
- 船城保明 (1988) 島根県未記録のカミキリ2種. すかしば, (29) : 12.
- 市田忠夫 (1996) 青森県のウンカ下目. Celastrina, (31) : 41-76.
- 市川顕彦 (1995) 中国地方のヒシバッタ類. すかしば, (41/42) : 23-24.
- 市川顕彦 (2002) 2002年版、日本産直翅目チェックリスト. ばったりぎす, (131) : 33-49.
- 市川顕彦・門脇久志 (1998) 隠岐諸島の昆虫17. 隠岐諸島の直翅類. すかしば, (46) : 47-55.
- 市川顕彦・村井貴史・本田恵理 (2000) 総説・日本のコオロギ. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 257-332.
- 池田一喜 (1993) 1992年の採集日記から. 蝶州, (6) : 13-16.
- 井村有希・水沢清行 (2013) 「日本産オサムシ図説」. 368pp. 六本脚.
- 今坂正一・中條道崇 (1984) ヒサゴゴミムシダマシ属の系統と進化 (8). 月刊むし, (157) : 23-29.
- 稲田和久・門脇久志・祖田 周・大浜祥治 (2001) 隠岐諸島の昆虫19. 隠岐・島後のカワゲラ類(第1報). すかしば, (49) : 71-79.
- 稲田和久・祖田 周 (1999) 島根県斐伊川水系のカワゲラ相(予報). ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 131-140.
- 猪又敏男 (1990) 「原色蝶類検索図鑑」. 223pp. 北隆館.
- 猪又敏男 (2005) 日本の蝶 (17) キチョウ. 月刊むし, (408) : 33-37.
- 猪又敏男・池田真澄・岸田泰則・板垣有而・金田吉高 (1986) 「大図録・日本の蝶」. 499pp.+86pls. 竹書房.
- 井上 寛ほか (1982) 「日本産蛾類大図鑑」. 968pp.+556pp.+393pls. 講談社.
- Inoue, H. (1998) A new species of the *Herpetogramma* Ledere (Pyraustinae, Crambidae) From Japan. Trans. Lepid. Soc. Japan, 51 (4) : 316-318.
- 井上雅仁・三島秀夫・大畠純二 (2009) 赤名湿地でみられる動植物について(中間報告). 島根県立三瓶自然館研究報告, (7) : 37-52.
- 井上雅仁・三島秀夫・大畠純二 (2011) 世界遺産石見銀山跡周辺で確認された動植物目録. 三瓶自然館研究報告, (9) : 49-75.
- 犬飼拓展 (2013) 雨の中の宝石-中国地方、蝶の旅. SPINDA, (28) : 10-12.
- 石田明儀 (1968) 出雲市のゼフィルス, *Necydalis*, 1 (2) : 8.
- 石田明儀・西田秀行 (1980) イワタメクラチビゴミムシの記録. すかしば, (13) : 31.
- Ishikawa, T. (1998) A New Species of the Genus *Polytoxus* (Heteroptera, Reduviidae) from Japan. Jpn. J. syst. Ent., 4 (2) : 325-330.
- 石川 忠ほか編 (2012) 「日本原色カムムシ図鑑第3巻」. 573pp. 全国農村教育協会.
- 石川佳宏 (2004) ギフチョウ属とその食草カンアオイ属文献資料一覧. ホシザキグリーン財団研究報告, (7) : 179-260.
- 石本信博・佐々木保 (1979) 浜田市で採集したギンイチモンジセセリとクロヒカゲモドキ. すかしば, (12) : 30.
- 石谷正宇・門脇久志 (2000) ゴミムシ相およびその生物学的研究 (4) 島根半島のゴミムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 27-39.
- 一色周知監修 (1969) 「原色日本蛾類幼虫図鑑(上)」. 237 pp. 保育社.
- 一色周知監修 (1969) 「原色日本蛾類幼虫図鑑(下)」. 237 pp. 保育社.
- 板垣 治 (2008) 島根県安来市でキマダラルリツバメを採集. すかしば, (56) : 32.
- 板倉宏文 (1970) 浜山にて得た甲虫2種. *Necydalis*, 3 (1) : 9.
- 板倉宏文 (1984) フタスジカタビロハナカミキリを採集. すかしば, (22) : 25.
- 伊藤文紀・久保田直哉 (1984) 匹見産昆虫目録1. 匹見町の鱗翅目. すかしば, (21) : 1-14.
- 伊藤 宏 (1986) 三瓶山でウラキンシジミを採集. すかしば, (25) : 14.
- 伊藤 宏・三島秀夫 (2000) 島根県三瓶山のウスイロヒヨウモンモドキ. 24-27. In: 淀江賢一郎(編)「検討会討議資料集 ウスイロヒヨウモンモドキの衰亡と保護・激減する草原性チョウ類の保護をめざして」. (財) ホシザキグリーン財団, 94 pp.
- 伊藤 寿 (2005) 島根県島根半島でウラナミジヤノメを採集. 月刊むし, (418) : 18.
- 伊藤 寿 (2006a) 島根県におけるホシミスジとウラナミジヤノメの採集例. すかしば, (54) : 15.
- 伊藤 寿 (2006b) 中国地方のホシミスジの謎. 日本鱗翅学会中国支部報, (7) : 4-6.

- 伊藤 寿 (2007) 島根県浜田市・江津市でホシミスジを採集. すかしば, (55) : 32.
- 岩田久二雄 (1936) 擬鼻高蜂と鼻高蜂の習性. 昆虫, 10 (5) : 233-250.
- 和泉浩行 (1985a) 赤来町の鞘翅目 (I) -中間報告-. すかしば, (23) : 11-16.
- 和泉浩行 (1985b) 赤来町の鞘翅目 (II) -中間報告-. すかしば, (24) : 5-7.
- 和泉浩行 (1985c) 赤来町でウラキンシジミを採集. すかしば, (24) : 7.
- 和泉浩行 (1988) 赤来町の蝶類 -赤名・谷地区を中心にして-. すかしば, (29) : 1-6.
- 門脇久志 (1958) 隠岐島昆虫目録. 謄写自刊. 8pp.
- 門脇久志 (1968) 隠岐島の昆虫1. スネケブカヒロコバネカミキリの生態. 採集と飼育, (30) : 91-99.
- 門脇久志 (1976) 隠岐島の昆虫2. 隠岐島の蝶類. すかしば, (6) : 3-23.
- 門脇久志 (1977a) 隠岐島の蝶類(補遺1). すかしば, (7) : 14.
- 門脇久志 (1977b) 隠岐島の昆虫3. 隠岐島のカミキリムシ. すかしば, (7) : 15-38.
- 門脇久志 (1977c) 隠岐島の昆虫4. 隠岐島のトンボ類. すかしば, (8) : 1-9.
- 門脇久志 (1977d) 島根むしノート4. コメツキムシ・クワガタムシ・ハンミョウの記録. すかしば, (8) : 16-17.
- 門脇久志 (1978) 隠岐島の昆虫5. 隠岐島のコメツキムシ. すかしば, (10) : 27-36.
- 門脇久志 (1979) 隠岐島の昆虫7. 隠岐島のオサムシ. すかしば, (12) : 17-21.
- 門脇久志 (1980) 隠岐島の昆虫8. 隠岐島のジョウカイボン. すかしば, (13) : 29-30.
- 門脇久志 (1982) 隠岐島の昆虫9. 隠岐島のアリ類. すかしば, (17) : 27-30.
- 門脇久志 (1983) 隠岐島の昆虫10. 隠岐島の甲虫類目録. すかしば, (20) : 3-20.
- 門脇久志 (1985) 隠岐島の昆虫11. 隠岐島のセミ. すかしば, (23) : 21-23.
- 門脇久志 (1990) 隠岐島の昆虫14. 隠岐島のトビケラ. すかしば, (33) : 13-18.
- 門脇久志 (1991) 隠岐島の昆虫15. 隠岐島のゴミムシダマシ. すかしば, (35) : 9-14.
- 門脇久志 (1994) 三瓶山のバッタ類. 三瓶山の昆虫相とその保全: 17-19. 島根県昆虫研究会.
- 門脇久志 (1996) 隠岐諸島の昆虫16. 隠岐のカワトンボ. すかしば, (43/44) : 73-78.
- 門脇久志 (1998) 島根県のトビケラ類. すかしば, (46) : 1-12.
- 門脇久志 (2001a) 隠岐諸島の昆虫18. 中根猛彦博士同定の隠岐の昆虫類. すかしば, (49) : 39-55.
- 門脇久志 (2001b) タガメの1卵塊からの飼育例. すかしば, (49) : 63-69.
- 門脇久志・岸田泰則 (1977) 隠岐島の蛾 (II). 蛾類通信 (91) : 506-513.
- 門脇久志・岸田泰則 (1987) 隠岐島の昆虫13. 隠岐島の蛾 (3). すかしば, (27) : 1-14.
- 門脇久志・三島秀夫 (2006) 隠岐島の蛾 (IV). すかしば, (54) : 23-29.
- 門脇久志・那須 敏 (2001) 1994年隠岐・島後のカミキリムシ採集紀行. すかしば, (49) : 29-32.
- 門脇久志・淀江賢一郎 (1979) 鹿足郡津和野町地倉沼で得た昆虫類. すかしば, (12) : 33-34.
- 門脇久志・淀江賢一郎 (1988) 隠岐の昆虫. 日本の生物, 2 (4) : 43-52.
- 門脇久志・淀江賢一郎・大島弘 (1992) 島根県で採集された蛾類目録. すかしば, (37/38) : 1-44.
- 柿沼 進 (2009) 島根県浜田市でゴヘイニクバエを採集. はなあぶ, (27) : 56.
- 神垣健司 (1994) キマダラモドキの研究 I. 比婆科学, (159) : 1-21.
- 神垣健司 (2005) 中国地方のシルビアシジミの衰亡と考察. 蝶研究フィールド, (227) : 27-30.
- 上田常一 (1961) 松江市堀川の生物. 山陰文化研究紀要, (1) : 1-25.
- 上田常一 (1964) 山陰の珍チョウ. 「山陰の動物誌」: 121-129. 松江今井書店.
- 上田常一 (1965) 「隠岐の動物」: 49-56. 松江園山書店.
- 神谷一男・山本 玄 (1934) 甲虫目録1. 隠岐島の昆虫相. 関西昆虫学会会報, (53) : 308-309.
- 金子岳夫 (2012) クロモンチビヒメシャクの島根県からの記録. 誘蛾燈, (210) : 142.
- 環境庁編 (1980) 「日本の重要な昆虫類・中国版」第2回自然環境保全基礎調査.
- 環境庁編 (1982) 「日本の重要な昆虫類の分布・全国版」第2回自然環境保全基礎調査.
- 環境庁編 (1991) 「日本の絶滅のおそれのある野生生物」. 271pp. (財) 自然環境研究センター.
- 環境庁編 (1993) 「動植物分布調査報告書(昆虫(トンボ)類)」. 259pp.
- 環境庁編 (1993) 「動植物分布調査報告書(昆虫(セミ・甲虫)類)」. 351pp.
- Katsuma, N. (2009) A new species of the genus *Setodes* Rambur (Trichoptera, Leptoceridae) from Japan. Biogeography, 11: 41-46.
- 桂孝次郎 (1999) 大阪でも見つかりていた、最近、新種記載されたユミアシサシガメの一一種 (*Polytoxus armillatus* T. Ishikawa). かめむしニュース, (19) : 2.
- 桂孝次郎・宮武頼夫 (1993) ウシカメムシの幼生期、分布及び生活史の概略について. 大阪市立自然史博物館研報, (47) : 37-44.
- 川井信矢 (2000) ムネアカセンチコガネの穴掘り採集法. 鰐角通信, (1) : 54-56.
- 川井信矢 (2003) 砂地性マグソコガネ類の篩いによる採集法. 鰐角通信, (6) : 53-58.
- 川井信矢・河原正和 (2001) 隠岐・知夫里島の秋季の糞虫について. 鰐角通信, (2) : 45-48.
- 川合禎次・谷田一三 (2005) 「日本産水生昆虫 - 科・属・種への

- 検索」. 1342pp. 東海大学出版会
- 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究  
(2) 島根半島. ホシザキグリーン財団研究報告, (10): 37-76.
- 川元 裕 (2010) 島根県西部におけるウラナミジヤノメの採集記録. 山口のむし, (9) : 48.
- 川野敬介 (2005) 島根県東部の止水性水生昆虫の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) : 77-97.
- 川野敬介・中野浩史・林 成多・山内健生 (2006) 出雲市平田地域のため池生物調査 (2) 止水性水生昆虫類の生息状況. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 13-37.
- 川野敬介・尾原和夫・大木克行・吉岡誠人・青木新吾・林 成多・皆木宏明 (2011) 島根県産水生半翅類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (2) : 104pp.
- 川野敬介・皆木宏明 (2012) 島根県におけるホタル類の分布記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 235-247.
- 川久保千恵・星川和夫 (2011) 三瓶山姫逃池におけるトンボ群集の変遷. 島根県立三瓶自然館研究報告, (9) : 25-33.
- 河瀬直幹・林 成多 (2009) 島根県安来市で採集されたギンボシツツビケラ *Setodes argentatus* の記録 (毛翅目ヒゲナガトビケラ科). ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 323-324.
- 河瀬直幹・林 成多 (2010) 島根県奥出雲町船通山で採集されたトビケラ目成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 83-86.
- 河瀬直幹・林 成多 (2011) 島根県出雲市で採集されたトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 189-193.
- 河瀬直幹・林 成多 (2012) 2009~2011年に島根県で採集したトビケラ成虫の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 253-258.
- 建設省中国地方建設局出雲工事事務所編 (1994) 「斐伊川水系の昆虫」 200pp.
- 木村正明 (1989) 隠岐のホシミスジの分布とその食餌植物について. NEPTIS, (2) : 23-26.
- 木村康信 (1932) 島前に於ける動植物分布. 「概観島前地誌」 : 54-56. 隠岐地理学会.
- 木村康信 (1939a) 「隠岐黒木村ニ分布セル動物植物目録」. 1-23. 自刊.
- 木村康信 (1939b) 島前ニ於ケル動植物分布. 「増補改訂・概観島前地誌」 : 19-34. 隠岐地理学会.
- 木村康信 (1975) 隠岐の蝶. 島前の文化財, (5) : 10-14.
- 衣笠弘直・桂孝次郎 (1992) 隠岐島(島後, 島根県隠岐郡)で採集したトンボ. すかしば, (37/38) : 143.
- Kishii, T. (1991) New Negastrinae with some notes "some new forms of Elateridae in Japan (X)". Bulletin of the Heian High School, (20) : 17-45.
- 岸本 修・中島久朋・小椋英勇・河野広光 (1983) 島根県のウラジヤノメの2産地. すかしば, (19) : 8.
- 岸田泰則 (2011a) ドクガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑2」: 139-147. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則 (2011b) ヒトリガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑2」: 148-167. 学研教育出版, 東京.
- 岸田泰則・柳田慶浩・清野昭夫・石塚勝巳 (2011) ヤガ科シタバガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑2」: 244-264. 学研
- 教育出版, 東京.
- 岸田泰則編 (2011) 日本産蛾類標準図鑑1, 2. 学研教育出版, 東京.
- 小早川誠 (2004) 島根県内にて希少ゲンゴロウを採集. すかしば, (52) : 8.
- 小早川誠 (2007) 島根県内にてシャープゲンゴロウモドキを採集. すかしば, (55) : 49-50.
- 小早川誠・大浜祥治 (2007) 隠岐・島前で得られた水生昆虫. すかしば, (55) : 51-54.
- 小早川誠・永田正人 (2006) 島根県内にてコガタノゲンゴロウを採集. すかしば, (54) : 30-31.
- 小林一彦 (1957) 毛無山を中心とした島根広島県境の蝶類採集報告. 千鳥, (3) : 31-42.
- 小林一彦 (1958) ミスジチョウと市街地. 千鳥, (4) : 1-3.
- 小林一彦 (1993) 鳥取県およびその周辺のヒメハルゼミ生息地について. 鳥取生物, (27) : 11-21.
- 小林一彦 (1994) 山陰地方のギフチョウとカンアオイ. 「山陰のチョウたち」: 166-169. 山陰中央新報社.
- 小林裕和・松本 武 (2011) 「日本産コガネムシ上科図説 第3食葉群II」 178pp. 昆虫文献六本脚
- Kobayashi, M. (1987) Caddisflies or Trichoptera from Shimane Prefecture in Japan (Insecta). Bull. Kanagawa Pref. Mus., (17) : 13-35.
- 児玉 洋 (1984a) 匹見産昆虫目録2. 匹見町の鞘翅目. すかしば, (22) : 11-19.
- 児玉 洋 (1984b) 松江市でコブナシコブスジコガネを採集. すかしば, (22) : 19.
- 児玉 洋 (1985) 出雲北山のホンシュウジカの糞に集まる食糞コガネ. すかしば, (23) : 19-20.
- 小島圭三・林 匠夫 (1969) 原色日本昆虫生態図鑑I カミキリ編. 294pp, 56pl s. 保育社.
- 国土交通省中国地方整備局斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 (2007) 「尾原ダム自然環境調査業務 報告書」
- 国土交通省中国地方整備局斐伊川・神戸川総合開発工事事務所 (2010) 「尾原ダム自然環境モニタリング調査業務 報告書」
- 国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所 (2011) 「尾原ダム自然環境モニタリング調査業務 報告書」
- 小坂一章 (2009a) 高津川河畔のツマグロキチョウとシルビアシジミ. 山口のむし, (8) : 31.
- 小坂一章 (2009b) 江の川中流域に居すキロヤマトンボ. 山口のむし, (8) : 79-91.
- 小坂一章 (2010a) 中国太郎下流域に散居するキロヤマトンボ. 山口のむし, (9) : 117-126.
- 小坂一章 (2010b) 石州高津川にキロヤマトンボあり. 山口のむし, (9) : 127-134.
- 小坂敏和 (1994) 広島県産甲虫ノート (14). 広島虫報, (33) : 11-15.
- 小柳二三夫 (2013) ゴマシジミ異常型を雲南省で採集. すかしば, (60) : 22.
- 近藤万里・星川和夫 (2009) ホシミスジ隠岐個体群の成虫の発生消長と生息空間. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 229-234.

- 久保田直哉 (1985) 松江市近郊の蝶類の分布に関する知見. すかしば, (24) : 13-14.
- 久保田直哉 (1986) 隠岐諸島・中ノ島で得たチョウ類. すかしば, (26) : 14.
- 久保田直哉 (1987) 隠岐諸島・島後でエゾミドリシジミを発見. すかしば, (27) : 16.
- 久保田直哉 (1988) 隠岐・西ノ島でシルビアシジミを採集. すかしば, (30) : 54.
- 久保田直哉・伊藤文紀 (1983) 隠岐新記録の蝶2種. すかしば, (20) : 46.
- 久保康彦・横山 隆 (2013) 「珠玉の標本箱(5) ウラゴマダラシジミ」. 33pp. 有田 齊・前田善広編.
- 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之編 (1985) 「原色日本甲虫図鑑(III)」. 500pp. 保育社.
- 京都大学蝶類研究会 (2004) 2003年日本産蝶類採集情報. SPINDA, (19) : 120-149.
- 京都大学蝶類研究会 (2005) 2004年日本産蝶類採集情報. SPINDA, (20) : 106-142.
- 京都大学蝶類研究会編 (2011) 「京大蝶研の標本箱」. 234pp.
- 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター編 (1989) 「日本産昆虫総目録」. 1767pp. 九州大学農学部昆虫学教室.
- 町田禎之 (1985) 北見産昆虫目録3. 北見町の半翅目. すかしば, (23) : 1-8.
- 前田泰生 (2006) 島根県産メバエ類の採集記録. すかしば, (54) : 1-6.
- 前田泰生・北村憲二 (2006) 島根県産ネジレバネ類. すかしば, (54) : 7-8.
- 丸山宗利ほか (2013) アリヅカウンカ, キノカワハゴロモ: 「アリの巣の生き物図鑑」. 110-111. 東海大学出版会.
- Maruyama, M. and M. Hayashi (2009) Description of the intertidal aleocharine *Halorhadinus sawadai* sp. n. from Japan, with notes on the genus *Halorhadinus* Sawada, 1971. Koleopterologische Rundschau, 79: 71-82.
- 益田耕作 (1966) 恐羅漢山のウラジャノメ. 昆虫と自然, 1(5) : 38.
- 増田耕作 (1954) チビゴミムシの一種. Rare Insects, (9) : 11-15.
- 増田耕作 (1955) 石見地方のチビゴミムシ亜科の甲虫. 島根県立益田産業高校研究報告集, (3) : 1-4.
- 増田耕作 (1985) 「昆虫採集と新種」. 14pp. 自刊.
- 益本仁雄 (1973) 「フン虫の採集と観察」. 96pp. ニューサイエンス社.
- 益野俊行 (1954) 中部中国山脈の蝶類(1). Amateur Entomology, 4(3) : 6-11.
- 益野俊行 (1954) 中国山脈中部の蝶類. Amateur Entomology, 5(1/2) : 18-19.
- 松原 至 (2001) 中国地方産ルリクワガタ属分布資料(1). 鰐角通信, (3) : 25-28.
- 松原 至 (2002) 中国地方産ルリクワガタ属分布資料(2). 鰐角通信, (4) : 15-17.
- 松田 賢・中村慎吾 (1999a) 島根県高津川の昆虫相. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 57-119.
- 松田 賢・中村慎吾 (1999b) 江の川水系の昆虫類. 比和科学博物館研究報告, (37) : 39-176.
- 松田隆嗣 (2009) 松江市で採集されたガ類について. すかしば, (57) : 29-30.
- 松田隆嗣 (2012a) ナマリキシタバの幼虫を立久恵峠で採集. すかしば, (59) : 6.
- 松田隆嗣 (2012b) ムラサキシタバを島根半島で採集. すかしば, (59) : 8.
- 松田隆嗣 (2012c) 鳥取県大山におけるネズミホソバの採集記録. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (7) : 16.
- 松田隆嗣 (2012d) ハマゴウノメイガを島根県で採集. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 298.
- 松田隆嗣・野口祐美子 (2013a) 松江市各地でウスズミカレハを確認. すかしば, (59) : 10.
- 松田隆嗣・野口祐美子 (2013b) 松江市でオナガミズアオを採集. すかしば, (60) : 17-18.
- 松村雅史 (1979) 島根・鳥取両県での甲虫数種の採集記録. すかしば, (11) : 21.
- 松野 宏 (1972) 山口県産蝶類数種の記録. 山口県の自然, 3(6) : 20-22.
- 松浦 誠・山根正気 (1984) 「スズメバチ類の比較行動学」. xvi+428pp. 北海道大学図書刊行会.
- 松崎 隆 (2009a) ギフチョウ採集記録2001~2004年. 緑蝶, (9) : 23-37.
- 松崎 隆 (2009b) ルーミスシジミ採集記録2001~2004年. 緑蝶, (9) : 49-52.
- 三上秀彦 (1995) 中国産ギフチョウの変異と分布を考える. 蝶研フィールド, 10(3) : 4-9.
- Miyatake, Y. (1980) Notes on the genus *Pachypsyllea* of Japan, with description of a new species (Homoptera: Psyllidae). Bull. Osaka Mus. Nat. Hist., (33) : 61-70, pl. 18.
- 皆木宏明 (2007a) 島根県初記録となるフクイアナバチ(ハチ目: アナバチ科)について. 島根県立三瓶自然館研究報告, (5) : 25-26.
- 皆木宏明 (2007b) 島根県西部で初記録となるコバネアオイトンボ(トンボ目: アオイトンボ科)について. 島根県立三瓶自然館研究報告, (5) : 27-28.
- 皆木宏明 (2008) 島根県中央部で確認されたベニイトンボ(トンボ目: イトトンボ科). 島根県立三瓶自然館研究報告, (6) : 33-34.
- 皆木宏明・前田泰生 (2000) 海浜における送粉生態系の保全に関する研究. 1. 大社砂丘における訪花昆虫の種類とそれらの季節消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 139-160.
- 三島秀夫 (1983) 三瓶山でギフチョウを採集. すかしば, (20) : 46.
- 三島秀夫 (1986) 温泉津町でギフチョウを採集. すかしば, (25) : 14.
- 三島秀夫 (1991) キイロサナエとゲンバイトンボの記録. すかしば, (35) : 5.
- 三島秀夫 (1998) ホソバミツモンケンモンを採集. すかしば, (46) : 56.

- 三島秀夫 (2001a) 島根県「春の夜蛾・秋の夜蛾」. すかしば, (49) : 1-7.
- 三島秀夫 (2001b) 三瓶山でスギタニルリシジミを採集. すかしば, (49) : 86.
- 三島秀夫 (2002) 蛾の記録3つ. すかしば, (50) : 76.
- 三島秀夫 (2007) 注目すべき島根県のガ数種について. 島根県立三瓶自然館研究報告, (5) : 31-33.
- 三島秀夫 (2011) 注目すべき島根県のガ数種2010. 島根県立三瓶自然館研究報告, (9) : 103-105.
- 三島秀夫 (2012) 注目すべき島根県のガ数種2011. 島根県立三瓶自然館研究報告, (10) : 63-64.
- 三島秀夫 (2013) 島根県のガ. 谷田昌也編「六虫会25周年記念誌」: 48-49.
- 三島秀夫・尾原和夫 (2005) 2004・島根県西部の蛾類あれこれ. すかしば, (53) : 39.
- 三島秀夫・大浜祥治 (2009) 隠岐諸島の蛾類 (I). すかしば, (57) : 45-104.
- 三島秀夫・矢田猛士 (2008) 島根県大田市富山町の蛾類. 島根県立三瓶自然館研究報告, (6) : 21-31.
- 三島秀夫・矢田猛士 (2009) 島根県大田市富山町の蛾類II. 島根県立三瓶自然館研究報告, (7) : 107-119.
- 三島秀夫・米浦道子 (2010) 島根県大田市久手町の蛾類. 島根県立三瓶自然館研究報告, (8) : 25-32.
- 三島昭一 (1977) ウラナミジヤノメの採集例. すかしば, (8) : 22.
- 三島昭一 (1988) 三瓶山でクロミドリシジミ幼虫を採集. すかしば, (30) : 53.
- 三島昭一 (1990) 三瓶山でウラキンシジミを採集する. すかしば, (34) : 20.
- 三島昭一 (1991a) 島根県東部のゴマシジミ調査記録. すかしば, (36) : 14.
- 三島昭一 (1991b) 頓原町都加賀でのゼフィルス調査記録. すかしば, (36) : 14.
- 三島昭一 (1993) 未記録種2種を含む三瓶山のチョウ採集記録 (1993年). すかしば, (39/40) : 52.
- 三島昭一 (1995a) Thymelicus属2種の採集記録. すかしば, (41/42) : 13.
- 三島昭一 (1995b) ウラジロミドリシジミを島根半島で採集. すかしば, (41/42) : 13.
- 三島昭一 (1995c) 出雲市でスジボソヤマキチョウを採集する. すかしば, (41/42) : 13.
- 三島昭一 (1997a) 江川水系でミスジチョウを観察する. すかしば, (45) : 12.
- 三島昭一 (1997b) 1995年夏・ゼフィルス三瓶山での記録. すかしば, (45) : 58.
- 三島昭一 (1998a) ヒサマツミドリシジミ卵を金城町で採集. すかしば, (46) : 64.
- 三島昭一 (1998b) 島根県大万木山のブナ林でヒサマツミドリシジミを採集. すかしば, (46) : 65-66.
- 三島昭一 (1998c) ゴマシジミの吉田村民谷における衰亡の記録. すかしば, (46) : 66-67.
- 三島昭一 (2004a) ヒサマツミドリシジミを島根県旭町で採集する. すかしば, (52) : 22.
- 三島昭一 (2004b) ギフチョウの新産地. すかしば, (52) : 30.
- 三島昭一 (2007a) 島根県三瓶山産ホシミスジの覚え書き. すかしば, (55) : 33-34.
- 三島昭一 (2007b) 島根県産ホシミスジの分布と一考察. すかしば, (55) : 34-35.
- 三島昭一 (2007c) スギタニルリシジミを島根県赤来町で採集. すかしば, (55) : 34-35.
- 三島昭一 (2012) ヒメシジミを匹見町で採集する. すかしば, (59) : 18.
- 三島昭一 (2013a) ウラギンスジヒヨウモン♀を三瓶山で撮影. すかしば, (60) : 25.
- 三島昭一 (2013b) メスグロヒヨウモン♀を島根半島で目撃. すかしば, (60) : 25.
- 三島昭一 (2013c) 島根県西部金城町のヒメシジミとコキマダラセセリを採集. すかしば, (60) : 27-28.
- 三島寿雄 (1970) 島根県東部のヒロオビミドリシジミ. 昆虫と自然, 5 (12) : 7-8.
- 三島寿雄 (2007) 枕木山でオオルリボシヤンマを採集. すかしば, (55) : 12.
- 三島寿雄・松岡嘉之 (1979) 「大山の蝶」. 205pp. 米子今井書店.
- 水戸野武夫 (1955) スネケブカヒロコバネカミキリについて. 島根県生物学会報, (5) : 9-10.
- 水戸野武夫 (1959) 隠岐島で採れた珍しい昆虫. 新昆虫, 12 (2) : 46.
- 三宅 登・福井修二・金子信博・片桐成夫 (1990) 島根大学農学部付属三瓶演習林の鞘翅目. 山陰地域研究 (森林資源), (6) : 175-188.
- 三宅恒方 (1908) 隠岐島の昆虫相に就て. 日本昆虫学会報, 2 (8) : 182-186.
- 三宅誠治 (2007) 中国地方のクロミドリシジミ. 月刊むし, (437) : 42-47.
- Miyake, T (1907) An annotated list of the Lepidoptera of OKI. Annot. Zool. Japan, 6 (3) : 163-217.
- Miyake, Y. and S. Nakamura (1995) Descripiton of a new species of genus *Sericania* preserved in the Hiwa Museum for Natural History (Insecta: Coleoptera: Scarabaeidae). *HIBAKAGAKU*, (164) : 9-12.
- Miyamoto,S. and Yasunaga,T. (1988) A new genus and species of the Miridae from Japan (Hemiptera, Heteroptera). *ESAKIA*, (26) : 133-138.
- 宮本正一 (1977) 日本産異翅半翅類の学名について (2). *Rostria*, (27) : 207-209.
- 宮本正一・石原 保ほか (1964) 「原色日本昆虫大図鑑III」. 358pp, 北隆館.
- 宮本詔子 (2010) 益田市の冬季におけるクロマダラソテツシジミ観察記録2009年. すかしば, (58) : 17-20.
- 宮本詔子・宮本聰史 (2008a) 益田市でベニイトトンボを採集する. すかしば, (56) : 45-47.
- 宮本詔子・宮本聰史 (2008b) 益田市でタイワンウチワヤンマの成虫と羽化殻を採集. すかしば, (56) : 49-51.
- 宮本詔子・宮本聰史 (2008c) 島根県におけるヒロシマサナエの新

- 産地発見と生態の記録. すかしば, (56) : 53-64.
- 宮本詔子・宮本聰史 (2009) 益田市でオナガアカネを採集. すかしば, (57) : 34-35.
- 宮本詔子・宮本聰史 (2010a) 益田市におけるベニイトトンボの分布調査. すかしば, (58) : 27-29.
- 宮本詔子・宮本聰史 (2010b) 益田市中垣内町でハッショウトンボを確認する. すかしば, (58) : 30.
- 宮武頼夫・加納康嗣編 (1992) 「検索入門セミ・バッタ」. 215pp. 保育社.
- 宮武頼夫編 (1996) 「青木浩昆虫コレクション目録」. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第28集
- 水田國康 (1993) 広島県のフン虫雑記 (4). ふくがん, (6) : 4-6.
- 森 正人・北山 昭 (2002) 「改訂版 図説日本のゲンゴロウ」. 231pp. 文一総合出版.
- 森川比呂志 (1977) 隠岐採集記. *Sakaiensis*, 14 (1) : 4-7.
- Morimoto,K and Maeta,Y (2009) A New Species of *Stenoria* (Cokeoptera,Meloidae) from Japan,with Description of the First Instar Larva. *Jpn.J.syst.Ent.*, 15 (2) : 475-480.
- 森田誠司 (1993) 海棲のオサムシ科甲虫について. 昆虫と自然, 28 (11) : 17-22.
- 森山正治 (1978) 私の採集した蝶とカミキリ (一). すかしば, (10) : 22.
- 森山正治 (1979a) 私の採集した蝶とカミキリ (二). すかしば, (11) : 23-24.
- 森山正治 (1979b) 私の採集した蝶とカミキリ (三). すかしば, (12) : 35-36.
- 森山正治 (1980) 私の採集した蝶とカミキリ (四). すかしば, (13) : 25-26.
- 守安 敦 (2002) ヒロシマサナエの新産地. 昆虫と自然, 37 (14) : 43.
- 村井貴史・伊藤ふくお (2011) 「バッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑」. 北海道大学出版会, 札幌.
- 村路雅彦・加藤正雄 (1990) エサキアメンボ *Limnoporus esakii* の生活史に関する知見. 中国昆虫, (4) : 1-5.
- 長見和正 (1958) ウミミズカメムシの新産地. 新昆虫, 11 (2) : 48-49.
- 長瀬 翔 (2007a) 神戸川でキイロヤマトンボの幼虫を採集. すかしば, (55) : 28.
- 長瀬 翔 (2007b) 島根半島でムカシトンボの幼虫を確認. すかしば, (55) : 44.
- 長瀬 翔 (2012a) 島根半島部でハネビロエゾトンボを採集. すかしば, (59) : 29.
- 長瀬 翔 (2012b) 飛来種のオオギンヤンマを採集. すかしば, (59) : 29.
- 長瀬 翔 (2013) 神戸川でナゴヤサナエの幼虫を採集. すかしば, (60) : 50.
- 柳楽泰久 (1936) 分布三件. 昆虫界, 4 (23) : 69.
- 長島孝行 (1982) ガロアムシの生活史. インセクタリウム, 19 (3) : 4-17.
- 中原正登 (1982) 旅伏山でのオオムラサキ採集例. すかしば, (16) : 4.
- 中井 衛 (1954) 松江付近の蝉類. 昆虫界, (120) : 2-4.
- 中川邦隆 (1997) ハナムグリ採集紀行PART II, 隠岐西ノ島、中ノ島. みやぐに通信 (77) : 1-3.
- 中村慎吾 (1973) 中国山地におけるヒメシジミの分布. 蝶と蛾, 22 (3/4) : 104-105.
- 中村慎吾 (1987) 帝釈峠昆虫記6. タイシャクナガチビゴミムシと鍾乳洞の昆虫たち. 帝釈文化, (17) : 8-15.
- 中村慎吾・亀山 剛・片山舜輔 (2001) 江の川の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 17-114.
- 中村慎吾・松田 賢 (2005) 島根県高津川の昆虫類, 2000年の調査結果. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) : 99-172.
- 中村慎吾・関本生人・小田信明 (1999) 比和町立自然史科学博物館に寄贈された故伊藤弘氏の日本産蝶類標本. 比和町立自然科学博物館標本資料報告, (1) : 23-50.
- 中村泰士 (1969) 匹見町のミドリシジミ類-付・恐羅漢のウラジャノメについて-. すかしば, (4) : 3-5.
- 中村泰士 (1977) 島根県下のオオムラサキ杉谷型. すかしば, (7) : 39.
- 中村泰士 (1978) ヒサマツミドリシジミ♀の斑紋変異. すかしば, (10) : 1-4.
- Nakane T. (1983) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent Regions, xxxvi. *Frag. Coleop.*, 35/37:141.
- 中根猛彦 (1963) 「原色昆虫大図鑑II」: 443pp., 192pls. 北隆館.
- 中根猛彦 (1989) 日本の雑甲虫覚え書. 北九州の昆虫, 36 (3) : 143-152.
- 中蘭洋行 (2004) ハマベツチカメムシを島根県で採集. すかしば, (52) : 16.
- 中蘭洋行・星川和夫 (2003) ウスイロヒヨウモンモドキ三瓶山個体群の動態: 2002年度モニタリング調査の報告. 中国昆虫, (16) : 35-44.
- 中蘭洋行・宮永龍一・伊藤 宏・淀江賢一郎・星川和夫 (2001) 三瓶山のウスイロヒヨウモンモドキ個体群の現状(速報). ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 265-269.
- 直海俊一郎 (1994) 本州から未記録のハネカクシ2種. 房総の昆虫, (11) : 22.
- 成瀬吾朗・佐々田護 (1951) 西部中国山脈の蝶類第一報. 昆虫石見, (2) : 9-11.
- 日本鞘翅目学会編 (1984) 「日本産カミキリ大図鑑」 565pp. 講談社.
- 日本直翅類学会編 (2006) 「バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑」. 北海道大学出版会, 札幌.
- 西田秀行 (1980a) シルビアシジミを加賀で採集. すかしば, (14) : 4.
- 西田秀行 (1980b) ゴマシジミの一産地. すかしば, (14) : 11.
- 西脇淳浩・星川和夫 (2001) 宍道湖におけるナゴヤサナエとウチワヤンマの羽化消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (5) : 215-221.
- 延 栄一 (1997) 山陰のギフチョウの変異と未来ギフ. 蝶研フィールド, (131) : 8-12.
- 野津 裕 (1978) 島根県の甲虫. すかしば, (9) : 9-12.
- 野津幸夫 (1990) 三瓶山の食糞性コガネムシ. すかしば, (34) : 17.
- 野津幸夫 (1993) 島根県のセミの分布記録2例. すかしば,

- (39/40) :36.
- 野津幸夫 (1995a) 枕木山のホタルの記録. すかしば, (41/42) : 53.
- 野津幸夫 (1995b) 島根県未記録種を含む稀な蛾類の採集記録. すかしば, (41/42) :55-56.
- 野津幸夫 (1996) 隠岐諸島産ヒメボタルの記録. すかしば, (43/44) :68.
- 野津幸夫 (1997a) キボシマルウンカを石見銀山で採集. すかしば, (45) :12.
- 野津幸夫 (1997b) 島根県産昆虫類の分布記録 (1). すかしば, (45) :54-55.
- 野津幸夫 (1997a) ケシマグソコガネ類2種の記録. すかしば, (45) :81.
- 野津幸夫 (1997d) ホソバミツモンケンモンを島根県から初記録. すかしば, (45) :82.
- 野津幸夫 (1998a) 飯石郡のアカエゾゼミとエゾハルゼミの分布記録. すかしば, (46) :22.
- 野津幸夫 (1998b) ミツノエンマコガネを島根県から初記録. すかしば, (46) :67.
- 野津幸夫 (2012a) ナマリキシタバ 島根県にて採集. すかしば, (59) :4-5.
- 野津幸夫 (2012b) シロシモフリエダシャクを安来市布部ダムで採集. すかしば, (59) :12.
- 野津幸夫 (2012c) 浜田市金城町傍示峠8月初旬の蜻蛉. すかしば, (59) :32-33.
- 野津幸夫 (2013a) グンバイトンボを江の川水系濁川で採集. すかしば, (60) :43.
- 野津幸夫 (2013b) 浜田市雲月山でヒメクロサナエ、ムカシヤンマ、ミヤマアカネを確認. すかしば, (60) :43.
- 能美 豪 (1969) 鹿足郡六日市町の蝶. NECYDALIS, 2 (2) : 9-13.
- 野崎隆夫 (2000) 広島県産カラフトゴマフトビケラの確認. 比和科学博物館研究報告, (39) :1-4.
- 野崎隆夫・中村慎吾 (2005) 島根県で採集されたトビケラ成虫の記録. 比和科学博物館研究報告, (45) : 217-229.
- 尾原和夫 (1983) 島根県西部で採集した陸生カメムシ類. すかしば, (20) :51-56.
- 尾原和夫 (1986) 島根県東部で採集した陸生カメムシ類. すかしば, (26) :5-11.
- 尾原和夫 (1988) 島根県東部で採集した陸生カメムシ類 (2). すかしば, (29) :7-9.
- 尾原和夫 (1989) 浜山のオオヒヨウタンゴミムシ. すかしば, (32) : 31.
- 尾原和夫 (1990) 島根県の同翅類 (1) -セミを除く頸吻群-. すかしば, (33) :7-9.
- 尾原和夫 (1991a) 第1回斐伊川放水路環境調査委員会資料: 179-183, 建設省中国建設局出雲工事事務所.
- 尾原和夫 (1991b) 隠岐・島後で採集した半翅類. すかしば, (36) : 12-13.
- 尾原和夫 (1993a) 1993年隠岐で採集した半翅類. すかしば, (39/40) :27-28.
- 尾原和夫 (1993b) 三瓶山のセミ. すかしば, (39/40) :36.
- 尾原和夫 (1994) 瑞穂町の直翅型昆虫類. 「島根県瑞穂町の昆虫相」:13-14. 島根県昆虫研究会.
- 尾原和夫 (1997) 島根県の両生・水生カメムシ類. すかしば, (45) :13-16.
- 尾原和夫 (1999a) 出雲市郊外における脱皮殻調査によるセミ類7種の羽化消長. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 265-272.
- 尾原和夫 (1999b) 隠岐・島後で採集した異翅半翅類. すかしば, (47) :19-22.
- 尾原和夫 (2000a) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類. すかしば, (48) :33-41.
- 尾原和夫 (2000b) ユミアシサシガメ属*Polytoxus*の島根県における記録. すかしば, (48) :42.
- 尾原和夫 (2000c) トゲナベブタムシ匹見町で採集される. すかしば, (48) :43.
- 尾原和夫 (2001) キノカワハゴロモの島根県内の記録. すかしば, (49) :56.
- 尾原和夫 (2002a) カタピロクサビウンカの島根県における記録. すかしば, (50) :49.
- 尾原和夫 (2002b) 島根県における山地性セミ類の記録. すかしば, (50) :50.
- 尾原和夫 (2002c) 島根県で採集記録の少ない異翅半翅類について. すかしば, (50) :73-75.
- 尾原和夫 (2003) 2003年大万木山域におけるエゾゼミ類の記録. すかしば, (51) :29.
- 尾原和夫 (2005) 2004年ツマグロキチョウの観察記録. すかしば, (53) :30.
- 尾原和夫 (2006a) 隠岐諸島のアメンボ類. *Rostria*, (52) :61-63.
- 尾原和夫 (2006b) 島根県の半翅類. 「新島根の生物」:189-202. 日本生物教育会第61回全国大会記念誌.
- 尾原和夫 (2008a) 島田孝氏採集の隠岐産カメムシ類. すかしば, (56) :1-7.
- 尾原和夫 (2008b) 島根県で採集された未公表の異翅半翅類 (2). すかしば, (56) :9-22.
- 尾原和夫 (2008c) 中海南岸における半翅類の定点調査. すかしば, (56) :19-22.
- 尾原和夫 (2008d) 島根県におけるナベブタムシ類の分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (11) :211-215.
- 尾原和夫 (2009) 島田孝氏採集の隠岐産同翅類. すかしば, (57) :19-26.
- 尾原和夫 (2010a) 大根島の陸生半翅類. すかしば, (58) :7-11.
- 尾原和夫 (2010b) 珍種イシハラカメムシを奥出雲町で発見. すかしば, (58) :12.
- 尾原和夫 (2011) 脱皮殻調査によるヒメハルゼミの羽化曲線.CI-CADA,20 (1/2) :18-20.
- 尾原和夫 (2012) 島根県のセミ類, 近年の生息情報. すかしば, (59) :34-35.
- 尾原和夫 (2013) 西中国山地のコオイムシ. すかしば, (60) :40-41.
- 尾原和夫・三島秀夫 (2007a) 安来市東赤江町の蛾類. すかしば, (55) :19-22.
- 尾原和夫・三島秀夫 (2007b) 出雲市塩治町の蛾類. すかしば, (55) :25-27.

- 尾原和夫・三島秀夫・淀江賢一郎 (2001) 島根県佐田町高津屋農道の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (5) :139-160.
- 尾原和夫・大浜祥治・三島秀夫 (2007) 2005年島根県浜田市弥栄村程原林道の蛾類記録. すかしば, (55) :27-28.
- 越智輝雄 (2000) 日本産コブスジコガネの解説 (1). 鰐角通信, (1) :57-67.
- 越智輝雄 (2001) 日本産コブスジコガネの解説 (2). 鰐角通信, (2) :73-82.
- 岡 義人 (1969a) 出雲市のゼフィルスII. NECYDALIS, 2 (4) : 1-3.
- 岡 義人 (1969b) 出雲市産蝶類目録II. 自刊. 8pp.
- 岡 義人 (1969c) 大田市三瓶山7月の蝶. NECYDALIS, 2 (5) : 1-3.
- 岡 義人 (1971) 島根県未記録の蝶5種. 蝶と蛾, 22 (3/4) :109-111.
- 岡 義人 (1979) 三隅町でギンイチモンジセセリを採集. すかしば, (12) :37.
- 岡 義人 (1983) 中国地方のオサムシ (2). 江川～高津川流域における地理的分布. すかしば, (20) :41-43.
- 岡 義人・曾田貞滋 (1979) 中国地方のオサムシ (1)-日野川流域～江川流域における地理的分布. すかしば, (12) :1-15.
- 岡部武夫 (1931) 隠岐島の動植物. 島根教育, (430) :10-15.
- 岡部武夫 (1950) 隠岐雑俎. 隠岐郷土選書, (2) :17-29.
- 岡田雅裕 (1950) 浜田市近辺の蝶. 浜田高校生物部部報, 2 (1) : 7-11.
- 岡田雅裕 (1952a) アサマイチモンジヒシリビアシジミ. 昆虫石見, (2) :13-14.
- 岡田雅裕 (1952b) 三瓶山及びその付近の蝶 (1). 比婆科学, (27) :12-16.
- 岡田雅裕 (1952c) 「島根県石見地方産蝶類採集目録」. 26pp. 浜田昆虫同好会.
- 岡田雅裕・成瀬吾朗 (1949) 三瓶生物誌. 浜田高等学校生物学部部報, 2 (1) :4-24.
- 岡田雅裕・成瀬吾朗 (1951) 石見地方の蝶類第一報. 浜田高校生物学部部報, (6) :1-16.
- 岡田正哉 (1984) 竹節虫を調べやう5. ぱったりぎす, (61) :1972-1983.
- 岡島秀治・荒谷邦雄 (2012) 「日本産コガネムシ上科標準図鑑」. 444pp. 学研
- 岡本土朗 (1951) ホシミスジの新産地. 昆虫石見, (2) :18.
- 岡村一郎 (1989) 吾妻山でフジキオビを採集. すかしば, (31) : 18.
- 岡山県 (2003) 「岡山県野生生物目録」. 397pp.
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2003) 「岡山県レッドデータブック」. 465pp.
- 岡山県生活環境部自然環境課 (2010) 「岡山県レッドデータブック2009 動物編」. 416pp.
- 小村制伸 (2003) 山陰のギフチョウ採集案内. ゆずりは, (17) :27-28.
- 大林延夫・新里達也 (2007) 「日本産カミキリムシ」880pp. 東海大学出版会.
- 大田高校生物部 (1965) 三瓶山の蝶. 「三瓶研究総合誌第一集」:34-40.
- 大浜祥治 (1986) 北見・益田周辺におけるトンボの記録. すかしば, (26) :1-4.
- 大浜祥治 (1987) 島根県のトンボ10種の新産地. すかしば, (28) : 17-18.
- 大浜祥治 (1988) 布部ダム周辺のトンボとチョウ. すかしば, (30) : 49-51.
- 大浜祥治 (1991) 斐川町でヒメハルゼミの鳴き声を確認. すかしば, (36) :4.
- 大浜祥治 (1996) 1995年隠岐諸島セミの記録. すかしば, (43/44) :62.
- 大浜祥治 (1998) 島根県のセミ分布メモ. すかしば, (46) :20-21.
- 大浜祥治 (2001a) 隠岐・島後でタガメが採集される. すかしば, (49) :26-27.
- 大浜祥治 (2001b) 隠岐のエゾゼミの生息状況. すかしば, (49) : 27.
- 大浜祥治 (2001c) 神戸川でムスジイトトンボを発見. すかしば, (49) :28.
- 大浜祥治 (2002) 隠岐諸島のトンボ相 補遺. すかしば, (50) : 1-36.
- 大浜祥治 (2003a) 隠岐・島前の海士町でモノサシトンボが確認される. すかしば, (51) :15.
- 大浜祥治 (2003b) 八雲村星上山でヒメハルゼミの鳴き声を確認. すかしば, (51) :33.
- 大浜祥治 (2004) 隠岐・島後の油井ノ池でコバネアオイトトンボが大発生. すかしば, (52) :13.
- 大浜祥治 (2006) 島根県のトンボ類. 新島根の生物, 日本生物教育会島根大会実行委員会:171-187.
- 大浜祥治 (2007a) 隠岐・西ノ島でオオギンヤンマとハネビロトンボを採集. すかしば, (55) :24.
- 大浜祥治 (2007b) 2006年隠岐・島前で確認した直翅類. すかしば, (55) :55-60.
- 大浜祥治 (2008) 島前自然観察記. 隠岐の文化財, (25) :27-28.
- 大浜祥治 (2009a) 隠岐・島前で確認した直翅類-第2報-. すかしば, (57) : 9-12.
- 大浜祥治 (2009b) 2008年、島根県のタイワンウチワヤンマ分布状況調査. すかしば, (57) :27-28.
- 大浜祥治 (2009c) 隠岐・島前でタガメを確認. すかしば, (57) :36.
- 大浜祥治 (2009d) 隠岐・島前のトンボ追加記録. すかしば, (57) : 37-44.
- 大浜祥治 (2012) 2009～2011年、山陰地方沿岸部におけるタイワンウチワヤンマ分布状況調査. すかしば, (59) :30-31.
- 大浜祥治 (2013) 鳥取県初記録のタイワンウチワヤンマを境港市で採集. すかしば, (60) :42.
- 大浜祥治・門脇久志・祖田 周・三島秀夫・淀江賢一郎 (1996) 隠岐諸島のトンボ相-島根県のトンボ相 [IV] -. すかしば, (43/44) :1-26.
- 大浜祥治・小早川誠・長瀬 翔・林 成多 (2012) 島根県雲南省木次町ふるさと尺の内公園のトンボ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) :65-68.
- 大浜祥治・三島秀夫・祖田 周・淀江賢一郎 (1992) 島根県のトンボ相III. すかしば, (37/38) :81-106.

- 大浜祥治・坂田国嗣 (2010) カトリヤンマに寄生するヤンマタケ (冬虫夏草) を発見!. すかしば, (58) :31.
- 大浜祥治・祖田 周・淀江賢一郎・三島秀夫 (2003) 島根県のトンボ相V. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) :215-290.
- 大浜祥治・淀江賢一郎 (1995) ナゴヤサナエの生活史. 「斐伊川水系の昆虫」:78-81.
- 大浜祥治・淀江賢一郎・大浜靖子 (1991) 宍道湖のナゴヤサナエ (2). すかしば, (35) :15-17.
- 大畠純二・三島秀夫 (2000a) 三瓶山昆虫標本目録 (II) 鱗翅目. 島根県立三瓶自然館収蔵標本目録, (5) :1-85.
- 大畠純二・三島秀夫 (2000b) 山田昆虫コレクション目録 (鱗翅目). 島根県立三瓶自然館収蔵標本目録, (6) :1-40.
- 大畠純二・三島秀夫 (2002) 三瓶山昆虫標本目録 (III). 島根県立三瓶自然館収蔵標本目録, (7) :1-70.
- Oohata.J , Minagi.K and Maeta.Y (2010) Some Bionomical Notes on Newly Discovered Blister Beetle,*Stenoria oohatai* Morimoto et Maeta from Japan (Coleoptera, Meloidae, Nimognathinae). Bulletin of the Shimane Nature Museum of Mt.Sanbe.No.8:13-15.
- 大畠純二・皆木宏明・三島秀夫 (2003) 島根県立三瓶自然館収蔵資料目録, (8) :1-100.
- 大平仁夫 (1999) 隠岐諸島のコメツキムシ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) :223-237.
- 大木克行 (2000) キュウシュウエゾゼミを山口県で採集. CICADA, 15 (2) :21-22.
- 大木克行 (2001) 山口県におけるキノカワハゴロモとスカシハゴロモモドキの記録. Rostria, (50) :57-58.
- 大木克行 (2003) 山口県および愛媛県で得られたユニアシサシガメ類とアシナガサシガメ類. Rostria, (51) :27-36.
- 大木克行・三時輝久 (2001) 山口県のアメンボ類の分布資料と生息環境. 山口県立山口博物館研究報告, (27) :1-14.
- 大桃定洋・福富宏和 (2013) 「日本産タマムシ大図鑑」208pp.むし社.
- 大村 誠 (1969a) 浜田市近辺のチョウ. NECYDALIS, 2 (2) :3-9.
- 大村 誠 (1969b) 三階山と私. NECYDALIS, 3 (2) :1-2.
- 大野正男 (2000a) 日本産主要動物の種別知見総覧 (54), オオヒヨウタンゴミムシ (1). 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (44) :133-162.
- 大野正男 (2000b) 日本産主要動物の種別知見総覧 (54), カワラハンミョウ (1). 東洋大学紀要教養課程篇 (自然科学), (44) :163-201.
- 大野正男 (2001) 日本産主要動物の種別文献目録 (18a) ベーツヒラタカミキリ (2). ホシザキグリーン財団研究報告, (5) :311-333.
- 大野正男・門脇久志 (1983) 島根県産ハムシ科分布資料 (1). すかしば, (20) :47-49.
- 大阪府 (2000) 「大阪府野生生物目録」. 351pp.
- 大島益堂 (1951) 浜田・長者原に産するホシチャバネセセリについて. 昆虫石見, (2) :16.
- 大島 弘 (1994a) 浜田市・江津市の蛾類. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 浜田・江津地区の昆虫類」:26-31.
- 大島 弘 (1994b) 邑智町内田温泉地区の蛾. 「島根県特定地域野生生物緊急調査報告書, 邑智地区の昆虫類」:24-29.
- 大浦清介 (1962) 時代別病害虫の被害状況. 「島根県植物防疫史」:1-44. 島根県植物防疫協会.
- 大屋厚夫 (1991) 那賀郡三隅町岡見のチョウ40年の記録. すかしば, (36) :1-3.
- オリックス浜田開発株式会社 (1994) 昆虫類確認種目録. 「島根中央地域リゾート構想環境影響評価書 (資料編)」.
- 長田 勝 (1997) 灯火で採集したカワラバッタ. ばったりぎす, (113) :54.
- Owada M. (1998) Moths of *Eterusia aedea* (Lepidoptera, Zygaenidae) from the Islands of Okinoshima, off Fukuoka, North Kyusyu. Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo, (30) :7-12.
- 尾添 晓・川島逸郎・二橋 亮 (2012) 「日本のトンボ」. 531pp.文一総合出版, 東京.
- 西城 洋 (2001) 島根県の水田と溜め池における水生昆虫の季節的消長と移動. 日本生態学会誌, 51 (1) :1-11.
- 西城 洋 (2002) 止水性水生昆虫の生活史における養魚水田の役割. 日本生態学会誌, 52 (2) :155-165.
- 税所康正 (2004) 大万木山のエゾゼミ類.CICADA,18 (1) :9-10.
- 酒井 香 (1996) 隠岐諸島西ノ島産のアオハナムグリの1新亜種. 月刊むし, (309) :10-11.
- 酒井 香・藤岡昌介 (2007) 「日本産コガネムシ上科図説 第2巻 食葉群I」173pp.昆虫文献六本脚
- 坂本 充 (2001) 広島県のキリギリス類 (バッタ目:キリギリス科). 比和科学博物館研究報告, (40) :99-121. 5pls.
- 坂田国嗣 (1996a) 安来市内でギフチョウ採集. すかしば, (43/44) :44.
- 坂田国嗣 (1996b) 三瓶山と恐羅漢山でサツマシジミ確認. すかしば, (43/44) :44.
- 坂田国嗣 (1997a) 蝶類の配偶行動の観察. すかしば, (45) :1-8.
- 坂田国嗣 (1997b) 仁多町にてスジグロチャバネセセリ多数確認. すかしば, (45) :58.
- 坂田国嗣 (1997c) 安来市の蝶相. すかしば, (45) :65-70.
- 坂田国嗣 (1998) 1997年に出会った蝶たち. すかしば, (46) :39-46.
- 坂田国嗣 (1999a) 蝶・その産地の衰亡. すかしば, (47) :5-8.
- 坂田国嗣 (1999b) 仁多町呑谷にてコミスジ異常型とアカエゾゼミ採集. すかしば, (47) :41.
- 坂田国嗣 (2000) 1999年キリシマミドリシジミの行動観察. すかしば, (48) :50-51.
- 坂田国嗣 (2004) チョウの観察記録. すかしば, (52) :41-46.
- 坂田国嗣 (2005) 2004年チョウの観察記録. すかしば, (53) :1-3.
- 坂田国嗣 (2010) 松江市と安来市でメスグロヒヨウモン♀確認. すかしば, (58) :13.
- 坂田国嗣 (2012) 安来市でメスグロヒヨウモン再確認. すかしば, (59) :3.
- 坂田国嗣 (2013a) 2012年度・蝶観察記録. すかしば, (60) :31-34.
- 坂田国嗣 (2013b) 安来市でハッチョウトンボの発生確認. すかしば, (60) :35.
- 三田隆生 (1988) 潮風のオオウラギン. 蝶研サロン, (17) :1-3.
- 山陰むしの会編 (1993) 「山陰のトンボ」. 208pp. 山陰中央新報

- 社.
- 山陰むしの会編 (1994) 「山陰のチョウたち」. 208pp. 山陰中央新報社.
- 指田春樹 (2005) ギフチョウ採集記録. 多摩虫, (47) : 49-53.
- 佐藤陽路樹 (1994) 隠岐プロテ採集報告. プロテニュース, (10) : 4-5.
- 佐藤仁志 (1986) 宍道湖岸でナゴヤサナエの大量羽化を確認. すかしば, (26) : 12-13.
- 佐藤仁志 (1992) ナゴヤサナエの新産地 (静間川). すかしば, (37/38) : 51.
- 妹尾俊男 (1989) 中央大学附属高校に寄贈された昆虫標本I鱗翅目 (蝶類). 教育・研究, (3) : 39-69.
- 繁浪和夫 (1962) 作物別病害虫の発生と被害状況. 「島根県植物防疫史」: 45-142. 島根県植物防疫協会.
- 島田 孝 (2004a) 隠岐島後からエサキアメンボを発見. すかしば, (52) : 19.
- 島田 孝 (2004b) 隠岐自然館甲虫標本目録. すかしば, (52) : 33-40.
- 島田 孝 (2006a) 隠岐島後の重柄川河口の地表性甲虫 (1) ハマベゴミムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 126.
- 島田 孝 (2006b) 隠岐島後の重柄川河口の地表性甲虫 (2) オオツノハネカクシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (9) : 144.
- 島田 孝・石川忠 (2004) 隠岐島後からアダチアカサシガメを発見. すかしば, (52) : 16.
- 島田 孝・尾原和夫・大浜祥治 (2005) 隠岐の水生食肉甲虫類. すかしば, (53) : 41-48.
- 島根県 (1975) 隠岐島に生息する昆虫. 島根県自然環境保全地域候補地学術調査報告書第2集, 別表2-6.
- 島根県 (1991) 「匹見自然林 (安蔵寺山加令谷) 学術調査報告書」: 80pp.
- 島根県 (1995) 「島根県の貴重野生動植物リスト」: 34pp.
- 島根県環境生活部景観自然課 (1997) 「しまねレッドデータブック-島根県の保護上重要な野生動植物- (動物編)」. 417pp.
- 島根県昆虫研究会編 (1994a) 「三瓶山の昆虫相とその保全」. 221pp.
- 島根県昆虫研究会編 (1994b) 「島根県瑞穂町の昆虫類」. 82pp.
- 島根県自然保護読本編集委員会編 (1975) 船通山と吾妻山. 「しまねの自然」: 60-62.
- 島根県農林水産部林政課 (1987) 島根半島弥山山地におけるニホンジカに関する調査.
- 宍道湖のナゴヤサナエ研究グループ (1988) 宍道湖のナゴヤサナエ. 島根野生生物研究会会報, (5) : 1-14.
- 新海義春 (2004) ヒサマツミドリシジミの採集記録. わたしたちの自然史, (88) : 22.
- 白水 隆 (1951) 日本産ミドリシジミ類の1新種. 昆虫, 19 (2) : 60-66.
- 白水 隆 (1980) 島根県那賀郡大佐山のヒョウモンモドキなど. すかしば, (9) : 6.
- 白水 隆 (1985) 「日本産蝶類文献目録」. 873pp. 北隆館.
- 白水 隆 (1988) オオウラギンヒョウモンはなぜ消えたか. SATSUMA, (100) : 363-365.
- 白水 隆 (2002) 「続・日本産蝶類文献目録」. 1272pp.+21pp. 白
- 水隆文庫刊行会・ホシザキグリーン財団.
- 白水 隆・松香宏隆 (2003) 蝶類交尾飛翔の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 99-137.
- 曾田貞滋 (1977) 島根半島高尾山山塊及び松江平野のカミキリムシ. すかしば, (7) : 1-13. 2pls.
- 曾田貞滋 (2003) ミトコンドリアDNA分析に基づく西日本のオオオサムシ亜属の系統地理学的研究. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 153-166.
- 祖田 周 (1988) 安来市周辺のトンボ相 -スライド目録-. 1979-87. すかしば, (29) : 17-19.
- 祖田 周・大浜祥治 (2002) 安来市でムスジイトトンボが発見される. すかしば, (50) : 76.
- 祖田 周・大浜祥治 (2004) 2003年タイリクアキアカネ・オナガアカネの記録. すかしば, (53) : 15.
- 祖田 周・大浜祥治 (2006) 2004年・2004年、島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (54) : 22.
- 祖田 周・大浜祥治 (2007) 2006年島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (55) : 60.
- 祖田 周・大浜祥治 (2008) 2007年島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (56) : 26.
- 祖田 周・大浜祥治 (2012) 2009-2011年島根県の飛来アカトンボの記録. すかしば, (59) : 31-32.
- Sugi, S. (1990) Two new species of *Sugitania* Matsumura (Noctuidae, Cuculliinae) from Japan. *Tinea*, (13) : 55-60
- 杉 繁郎 (2000) 「日本産蛾類大図鑑以後の追加種と学名の変更」. 171pp. 日本蛾類学会.
- 杉 繁郎・中村正直 (1986) キバラケンモンとその近縁種たち. 月刊むし, (189) : 4-11.
- 杉村光俊・石田昇三・小島圭三・石田勝義・青木典司 (1999) 「原色日本トンボ幼虫・成虫大図鑑」. 917pp. 北海道大学図書刊行会.
- 杉村光俊・小坂一章・吉田一夫・大浜祥治 (2008) 「中国・四国のトンボ図鑑」. 255pp. いまだ社, 東京.
- 杉浦直人・皆木宏明・前田泰生 (1999) 島根県産ミヤコアオイ (ウマノスズクサ科) の受粉と結実. ホシザキグリーン財団研究報告, (3) : 195-208.
- 隅江直子・阪口津希子 (1982) ヒョウモンモドキの生活史. すかしば, (16) : 11-24. , (17) : 19-25.
- 鈴木謙治 (1994) 三瓶山の糞虫相. 「三瓶山の昆虫相とその保全」: 164-170.
- 鈴木謙治 (2006) ニセマグソコガネの採集記録. すかしば, (54) : 32.
- 鈴木邦雄 (1998) 日本産カワトンボ属 (均翅亜目, カワトンボ科) の分類, 地理的分布および地理的変異 (概説) 付: 新動物境界線'カワトンボ線'の提唱. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 289-314.
- 鈴木邦雄・宮地加織 (1996) 日本産カワトンボ属 (均翅亜目, カワトンボ科) 4種におけるテリトリー占有オスのメス認知能力. Tombo, 39 (1/4) : 2-12.
- 小路嘉明 (1990a) オオウラギンヒョウモンの探し方. 蝶研サロン, (40) : 14-16.
- 小路嘉明 (1990b) 中国地方のゴマシジミの探し方. 蝶研サロン,

- (41) :1-3.  
 小路嘉明 (1993a) ルーミスシジミのポイントの探し方. 蝶研サロン, (42) :1-12.  
 小路嘉明 (1993b) ヒメヒカゲ産地一覧. 蝶研サロン, (74) :16-19.  
 小路嘉明 (1994) 広島県のヒヨウモンモドキの保護. 比婆科学, (159) :29-42.  
 立川周二 (1985) エサキアメンボは絶滅するか-その分布と生息地から-. Rostria, (37) :521-525.  
 高橋 昭 (1976) 名古屋地方のヒヨウモンモドキ特にそのextinction消滅について. 佳香蝶, 28 (107) :33-37.  
 高橋真弓ら (1982-1984) 「原色日本蝶類生態図鑑I」. 277pp. 保育社.  
 高橋真弓・淀江賢一郎 (1992) 島根県三瓶山産ヤマキマダラヒカゲの生態的知見と地理的変異. 蝶と蛾, 43 (2) :107-119.  
 高橋寿郎 (1997a) 隠岐島のコガネムシに関する文献目録. すかしば, (45) :41-48.  
 高橋寿郎 (1997b) 中国山地をめぐる地域のコガネムシ相. ホシザキグリーン財団研究報告, (1) :205-219.  
 高橋寿郎 (1998) 日本海島嶼のコガネムシに関する文献目録. すかしば, (46) :23-37.  
 高橋寿郎 (1999) 島根県のコガネムシに関する文献目録・追加(1). すかしば, (47) :43-44.  
 高橋寿郎・淀江賢一郎 (1996) 島根県昆虫文献目録5. 島根県のコガネムシに関する文献目録. すかしば, (43/44) :27-41.  
 高橋佳孝 (1994) 「三瓶山牧野の変遷と残された課題」. 39pp. 中国農業試験場畜産部.  
 高橋佳孝・井上雅仁・Ondopa,J (2008) ウスイロヒヨウモンモドキの食草オミナエシの推移からみた三瓶山東の原草地の植生管理. 三瓶自然館研究報告, (6) :1-6.  
 高坂 寿 (1992) 西日本のオナガシジミ. 蝶研フィールド, 7 (4) :6-12.  
 竹内 亮 (1983) エゾミドリシジミをアカガシより採卵. ゆらぎあ, (7) :14.  
 竹内 亮 (1993a) キリシマミドリシジミ. 「鳥取県のすぐれた自然(動物編)」:158-159.  
 竹内 亮 (1993b) ヒヨウモンモドキ. 「鳥取県のすぐれた自然(動物編)」:174-175.  
 竹内 亮 (1993c) ミスジチョウ. 「鳥取県のすぐれた自然(動物編)」:178-179.  
 田中俊明 (2005) 2005年採集メモ帳. 蝶道, (337) :1744.  
 谷 幸三・富永 修・土井伸治郎 (1982) 隠岐島の水生昆虫. すかしば, (16) :29-41.  
 谷本幹夫 (1957) ホシミスジ立久恵で採る. 千鳥, (3) :30.  
 谷田一三監修 (2000) 「原色 川虫図鑑」. 240pp. 全国農村教育協会.  
 館林治志 (1957) ウラナミアカシジミ茶臼山で採集. 千鳥, (3) :26.  
 手塚 浩 (2009) ゴマシジミ採集記録2001~2004年. 緑蝶, (9) :46-49.  
 富永 修 (1994) 隠岐島の直翅類の記録. ばったりぎす, (101) :5-6.  
 富永 修編 (1996) 図鑑 日本のクサキリ. ばったりぎす, (106) :1-24.  
 富沢 章 (2000) 石川県におけるハマゴウノメイガの分布と生態. 蛾類通信, (211) :208-212.  
 友国雅章 (1985) 隠岐諸島の異翅半翅類. 国立科博専報, (18) :153-161.  
 友国雅章監修 (1993) 「日本原色カムシ図鑑」. 380pp. 全国農村教育協会.  
 鳥取県生活環境部環境政策課 (2002) 「レッドデータブックとり-鳥取県の絶滅のおそれのある野生動植物- (動物編)」. 214pp.  
 土江好子・淀江賢一郎 (1997) 1996年ナゴヤサナエ羽化殻調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (1) :39-41.  
 津田松苗 (1954) 三瓶山浮舟池のトビケラ. 新昆蟲, 7 (12) :26-27.  
 塚本珪一 (1994) 「日本糞虫記」. 231pp. 青土社.  
 塚本珪一 (2003) 日本フン虫誌 (4) :絶滅に瀕するフン虫. 鰐角通信, (6) :33-41.  
 Tsuneki,K. (1956,1957,1958) Ethological studies on *Bemix nipponica* Smith, with emphasis on the psychobiological analysis of behavior inside the nest (Hymenoptera, Sphecidae). Part I, II, III. *Memorandum of Faculty of Liberal Arts, Fukui University, Series II, Natural Science*, 6 :77-172,4pls.; 7 :1-115; 8 :1-78,4pls  
 鶴崎展巨 (2012) ハマベツチカムシ. 「レッドデータブックとり」改定版. :93.鳥取県.  
 内田俊夫 (2013) 2012年の採集記録と確認報告. すかしば, (60) :23.  
 内田臣一・稻田和久・祖田 周 (1999) 島根県斐伊川にコカワゲラ(カワゲラ科)が多産. 兵庫陸水生物, (50) :87-90.  
 内田正吉 (2003) クツワムシはなぜ減ったのか?. 寄せ蛾記, (108) :5-6.  
 上田昇平・潘 宇・小藪紅仁・占部由香・淀江賢一郎・宇佐美真一 (2005) 隠岐と島根県本土に生息するチョウ類の地理変異に関する系統学的解析. ホシザキグリーン財団研究報告, (8) :25-30.  
 上野俊一 (1986) 特殊環境と生活. 「原色日本甲虫図鑑I」:113-121.  
 Ueno, S. (1956) New *Halophilous* Trechids of Japan (Coleoptera, Harpalidae). *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 23 (1) :61-68.  
 Ueno, S. (1958a) The cave beetles from Akiyoshi-dai Karst and its vicinities. II. *Uozumitrechus*, a new group of the genus *Rakantrechus*. *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 25 (1) :49-61.  
 Ueno, S. (1958b) The cave trechids from the central part of the Chugoku District, Japan. I. A new species of *Trechiama* from the Taishaku limestone area. *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 25 (3) :181-184.  
 Ueno, S. (1958c) The Cave Trechids from the Central Part of the Chugoku District, Japan. II. *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, series B*, 25 (3) :185-197.  
 Ueno, S. (1970) The Fauna of the Insular Lava Caves in West Japan. III. *Trechinae* (Coleoptera). *Bull. Nat. Sci. Mus.*, 13

- (4) : 603-622.
- Ueno, S. (1971) The Fauna of the Insular Lava Caves in West Japan IX. Trechinae (Additional). *Bull. Nat. Sci. Mus.*, 14 (2) : 181-185.
- Ueno, S. (1978) The Thalassoduvalius (Coleoptera, Trechinae) of the Izu area, Central Japan. *Mem. Natn. Sci. Mus., Tokyo*, (11) : 123-130., pl.6.
- Ueno, S. (1985) The Cave Trechids from the Central Part of the Chugoku District, Japan II. *Memo. Coll. Sci. Univ. Kyoto*, series B, 25 (3) : 185-197.
- Ueno, S. (1994) Occurrence of *Thalassoduvalius* (Coleoptera, Trechinae) on two isolated Islands off Kyusyu, West Japan. *Elytra*, 22 (1) : 45-48.
- Ueno, S. (2007) Blind Trechine Beetles (Coleoptera, Trechinae) from the Tsushima Islands, West Japan. *Elytra*, 35 (2) : 385-399.
- Ueno, S. (2008) Occurrence of a New *Stygiotrechus* (Coleoptera, Trechinae) in the Shimane Peninsula, West Japan. *J. speleol. Soc Japan*, 33:1-5.
- Ueno, S. (2010) Occurrence of a New *Uozumitrechus* (Coleoptera, Trechinae) in the Shimane Peninsula, West Japan. *Elytra*, 38 (1) : 131-136.
- 上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝 (1989) 「原色日本甲虫図鑑(II)」. 514pp. 保育社.
- Ueno, S. and Naito, T. (2007) Occurrence of *Stygiotrechus* (Coleoptera, Trechinae) on the Japan Sea Side of Western Honshu, Japan. *Ent. Rev. Japan*, 62 (1) : 11-15.
- 碓井 徹 (2003) 島根県隠岐諸島における水生半翅類の分布記録. *Rostria*, (51) : 25-26.
- 若槻匡志 (1957a) 松江市近郊におけるギフチョウとその生活史. 千鳥, (1) : 5-11.
- 若槻匡志 (1957b) シルビアシジミの採集記録. 千鳥, (3) : 29.
- 若槻匡志 (1959) 第3回中国山地遠征報告. 千鳥, (5) : 1-7.
- Watanabe Y. (1990) A New *Micropeplus* (Coleoptera, Staphylinidae) from the Islands of Oki, West Japan. *Proc. Soc. Syst. Zool.*, (42) : 37-41.
- 渡辺 隆・須藤 熨 (1959) 中国山脈のウラジャノメ. 2pp. 島根県高等学校文化連盟研究集録.
- 渡辺一雄 (1993) 中国山地における氷期の遺存種ウラジャノメ. 「日本産蝶類の衰亡と保護第2集」: 111-124.
- 渡辺一雄 (1995) ギフチョウの生息環境と共存への課題. 昆虫と自然, 30 (4) : 5-15.
- 渡辺一雄 (1998) ギフチョウの飛翔行動と分布論-地形依存的集合・散開運動による散逸の防止と生殖. ホシザキグリーン財団研究報告, (2) : 165-223.
- 渡辺一雄・淀江賢一郎・難波通孝・山中捷二・後藤和夫 (2000) 中国地方におけるギフチョウ-分布図および分布論. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) : 225-237.
- 渡辺通人 (2007) 越 英夫先生採集の収蔵標本. 山梨の昆虫, (50) : 1325-1380.
- 渡辺泰明 (1979) チビハネカクシ亜科 (Micropeplinae) 概説. 甲虫ニュース, (45) : 1-8.
- 渡辺康之編 (1996) 「ギフチョウ」 269pp. 北海道大学図書刊行会.
- 養父志乃夫・淀江賢一郎 (1983) 島根県のトンボ相・II: 解説と考察. すかしば, (20) : 57-68.
- 山田 学 (1999) 匹見町の甲虫採集記録. すかしば, (47) : 9-18.
- 山田 学 (2001a) 匹見町のセミ・ナナフシ・カマキリ・ゴキブリの記録. すかしば, (49) : 17-19.
- 山田 学 (2001b) 匹見町におけるオキナワルリチラシの発見. すかしば, (49) : 19.
- 山田 学 (2001c) 匹見町におけるトゲナベブタムシの生息環境. すかしば, (49) : 20.
- 山田 学 (2003a) 匹見町におけるオオチャイロハナムグリの採集記録. すかしば, (51) : 16
- 山田 学 (2003b) 匹見町・高津川にてカワラバッタの生息を確認. すかしば, (51) : 30.
- 山田 学 (2003c) 島根県西部地域におけるハンミョウ類・ヒヨウタンゴミムシ類の採集および観察記録. すかしば, (51) : 34-36.
- 山田 学 (2004a) 西中国山地のオオキノコムシ類の採集・観察記録. すかしば, (52) : 11
- 山田 学 (2004b) 美濃郡匹見町でのヒラタムシ類の採集記録. すかしば, (52) : 12-13
- 山口英夫 (1994a) シャープゲンゴロウモドキ (4) 分布図. 越虫, (25) : 18-22.
- 山口英夫 (1994b) シャープゲンゴロウモドキ (5) 資料編. 越虫, (25) : 25-34.
- 山口県環境生活部自然保護課 (2002) 「レッドデータブックやまぐち」. 513pp.
- 山本正志 (1974) カラスシジミを採集. すかしば, (1) : 5.
- 山本正志 (1978) 仁多郡内のミスジチョウの記録. 昆虫と自然, 13 (13) : 18.
- 山本正志 (1981) 津和野町でヒサマツミドリシジミ卵を採卵. すかしば, (15) : 16.
- 山本正志 (1982) 船通山でフジミドリシジミを採集. すかしば, (18) : 27.
- 山本正志 (1983) 中国山地のゴマシジミ調査記録. すかしば, (19) : 7-8.
- 山本正志 (1989) 三瓶山でクロミドリシジミ幼虫を採集. すかしば, (31) : 19.
- 山本正志 (2002) ツマグロキチョウの調査報告. すかしば, (50) : 37-38.
- 山本正志 (2005a) 島根県中部地域 (江の川流域) における岩場の蝶 (ホシミスジ・ウラナミジャノメ・ヘリグロチャバネセセリ) の採集及び観察記録. すかしば, (53) : 23-25.
- 山本正志 (2005b) 江の川流域でシルビアシジミを採集. すかしば, (53) : 22.
- 山本正志 (2005c) 江津市の海岸でギンイチモンジセセリを採集. すかしば, (53) : 25.
- 山本正志 (2005d) 島根県石見町冠山のギフチョウ. すかしば, (53) : 25-26.
- 山本正志 (2005e) ツマグロキチョウの調査報告 (2). すかしば, (53) : 28-29.

- 山本正志 (2005f) ヒサマツミドリシジミを島根県瑞穂町で採集. すかしば, (53) : 29.
- 山本正志 (2005g) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるハンミョウ類の採集及び観察記録. すかしば, (53) : 31-34.
- 山本正志 (2006a) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるゼフィルスの採集報告. すかしば, (54) : 41-43.
- 山本正志 (2006b) 島根県金城町弥畠牧場にてヒメシジミ・コキマダラセセリを採集. すかしば, (54) : 44-45.
- 山本正志 (2006c) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるオオムラサキの採集・観察記録. すかしば, (54) : 45-46.
- 山本正志 (2006d) 江の川河岸のギフチョウ (大和村長藤高梨のギフチョウの一習性). すかしば, (54) : 46.
- 山本正志 (2006e) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるクモガタヒヨウモンの採集・観察記録. すかしば, (54) : 48-49.
- 山本正志 (2006f) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるツマグロキチョウの越冬地を確認. すかしば, (54) : 49.
- 山本正志 (2006g) 三瓶山麓で採集したカミキリ2種 (スネケブカヒコバネカミキリ, ルリボシカミキリ). すかしば, (54) : 54-55.
- 山本正志 (2006h) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるハッショウトンボの採集・観察記録. すかしば, (54) : 50.
- 山本正志 (2006i) 島根県瑞穂町久喜にてグンバイトンボを採集. すかしば, (54) : 50-51.
- 山本正志 (2006j) 山陰地方のセミ類の採集・鳴き声等の観察記録 (エゾ・アカエゾゼミ, チッチゼミ). すかしば, (54) : 60-61.
- 山本正志 (2006k) 島根県中部地域 (江の川流域) におけるカワラバッタの採集・観察記録. すかしば, (54) : 58.
- 山本直樹 (1994) シャープゲンゴロウモドキ島根県で採集. 越虫, (25) : 13.
- 山本直樹 (1995) 中国地方のヒメヒカゲ (上). 蝶研フィールド, 10 (7) : 15-20.
- 山本直樹・山岡幸雄 (1997) 島根県のシャープゲンゴロウモドキ. 月刊むし, (321) : 34-35.
- 中山捷二 (1994) ホシチャバネセセリ. 「山陰のチョウたち」: 148.
- 柳田慶浩 (1999) 春の夜蛾・秋の夜蛾. やどりが, (183) : 2-19.
- 柳橋浩一 (1987) 三瓶山でクロミドリシジミを採集. 蝶州, (1) : 25.
- 矢野高広・岸田泰則 (2011) スズメガ科. 岸田泰則編「日本産蛾類標準図鑑1」: 327-329. 学研教育出版, 東京.
- 矢代 学・市川顯彦 (2002) 島根県多伎町でハマスズを発見. 月刊むし, (372) : 48.
- 安田正利 (1989) 島根県鹿足郡柿木村でヒサマツミドリシジミ卵を採卵. 蝶州, (3) : 7.
- 安田正利 (1993) 島根県六日市町でタガメを採集. 蝶州, (6) : 2.
- 安江安宣 (1957) シルビアシジミの分布とその食草について考えること. すずむし, 7 (2) : 19-28.
- 安松京三 (1931) *Megachile kobensis* Cockerell 及び *M.perfervida* Cockerellに就いて. 昆虫世界, 35 (5) : 150-158.
- 安永智秀ほか (2001) 「日本原色カメムシ図鑑第2巻」. 350pp. 全国農村教育協会.
- 八幡浩二 (2001) アオマダラタマムシの採集記録. すかしば, (49) : 8.
- 八幡浩二 (2004) 隠岐・島後でまたタガメが採集される. すかしば, (52) : 29.
- 淀江賢一郎 (1976) 隠岐島産キリシマミドリシジミの生活史. すかしば, (6) : 24-27.
- 淀江賢一郎 (1977) 島根県における湿原性蝶類3種の採集記録. すかしば, (8) : 13-15.
- 淀江賢一郎 (1978) 三瓶山の蝶類 (1). すかしば, (10) : 37-47.
- 淀江賢一郎 (1979a) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (1). すかしば, (11) : 27.
- 淀江賢一郎 (1979b) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (2). すかしば, (12) : 29-30.
- 淀江賢一郎 (1980) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (3). すかしば, (14) : 19-20.
- 淀江賢一郎 (1981) 島根県からキリシマミドリシジミを発見する. すかしば, (15) : 16.
- 淀江賢一郎 (1982a) 松江市近郊のギフチョウ調査記録 (4). すかしば, (16) : 27-28.
- 淀江賢一郎 (1982b) 島根県昆虫文献目録I. 島根県のトンボに関する文献目録. すかしば, (17) : 1-10.
- 淀江賢一郎 (1982c) エゾゼミの採集記録. すかしば, (17) : 10.
- 淀江賢一郎 (1983a) 三瓶山でカラスシジミを採集. すかしば, (19) : 4.
- 淀江賢一郎 (1983b) 隠岐 (島後) でヘリグロチャバネセセリとアカシジミを採集する. すかしば, (20) : 56.
- 淀江賢一郎 (1984a) グンバイトンボを六日市で発見. すかしば, (21) : 17.
- 淀江賢一郎 (1984b) エゾゼミを忌部高原で確認. すかしば, (21) : 19.
- 淀江賢一郎 (1984c) ガロアムシの新産地. すかしば, (22) : 19.
- 淀江賢一郎 (1985) 大社・日御崎でシルビアシジミを採集. すかしば, (23) : 24.
- 淀江賢一郎 (1986a) 「ギフチョウ88カ所めぐり」: 182-183. 蝶研出版.
- 淀江賢一郎 (1986b) 島根県東部のヒロオビミドリシジミ新産地. すかしば, (25) : 16.
- 淀江賢一郎 (1987) 島根県のトンボに関する文献目録 [3]. すかしば, (27) : 15-16.
- 淀江賢一郎 (1988a) 隠岐・知夫里島における殺虫剤空中散布によるオオウラギンヒヨウモンの衰亡. 日本昆虫学会中国支部平成2年度例会発表資料. 1p.
- 淀江賢一郎 (1988b) 島根県加賀でミヤマチャバネセセリを採集. すかしば, (29) : 23.
- 淀江賢一郎 (1988c) 島根県昆虫文献目録2. 島根県のカミキリムシに関する文献目録. すかしば, (30) : 21-38.
- 淀江賢一郎 (1988d) 隠岐島産ルーミスシジミの記録2題. すかしば, (30) : 54.
- 淀江賢一郎 (1988e) 松江市内のミヤマチャバネセセリ. すかしば, (30) : 55.
- 淀江賢一郎 (1992a) 島根県昆虫文献目録3. 島根県のセミに関する文献目録. すかしば, (37/38) : 75-80.
- 淀江賢一郎 (1992b) ロシア沿海州のチョウと自然. すかしば,

- (37/38) :107-140.
- 淀江賢一郎 (1993a) 県別レッドデータリスト (隠岐). 「日本産蝶類の衰亡と保護第2集」:56-57. 日本鱗翅学会・日本自然保護協会.
- 淀江賢一郎 (1993b) 島根県昆虫文献目録4. 島根県の水生昆虫に関する文献目録. すかしば, (39/40) :29-35.
- 淀江賢一郎 (1994a) 三瓶山の蝶類. 「三瓶山の昆虫相とその保全」:77-95.
- 淀江賢一郎 (1994b) 瑞穂町のチョウ相. 「島根県特定地域野生生物緊急調査 (平成4年度) 報告書」:51-57.
- 淀江賢一郎 (1999) 隠岐島でムラサキツバメを採集. すかしば, (47) :42.
- 淀江賢一郎編 (2000) 「ウスイロヒヨウモンモドキの衰亡と保護－激減する草原性チョウ類の保護をめざして－」. 94pp. ホシザキグリーン財団.
- 淀江賢一郎編 (2001) 「ウスイロヒヨウモンモドキの衰亡と保護－激減する草原性チョウ類の保護をめざして－」. 86pp. ホシザキグリーン財団.
- 淀江賢一郎 (2002) 県別レッドデータリスト (島根) 「日本産蝶類の衰亡と保護第5集」:104-107. 日本鱗翅学会.
- 淀江賢一郎 (2003) 日本産蝶類県別レッドデータ・リスト (2002年)・島根県. 「日本産チョウ類の衰亡と保護第5集」:104-107.
- 淀江賢一郎 (2005) 島根県で採集されたクジャクチョウのことなど. Butterflies (フジ), (39) :53-55.
- 淀江賢一郎 (2009) 日本産蝶類都道府県別レッドリスト (三訂版). 「日本産チョウ類の衰亡と保護第6集」:214-217.
- 淀江賢一郎・中井博喜 (2010a) 山陰地方における最近の蝶の話題. Butterflies (フジ), (50) :49-54.
- 淀江賢一郎・中井博喜 (2010b) クロマダラソテツシジミ島根県における分布拡大 (2009). すかしば, (58) :21-26.
- 淀江賢一郎・中井博喜・山本正志 (1976) 赤名湿原で得た蝶類. すかしば, (6) :30.
- 淀江賢一郎・岡 義人 (1980) 瑞穂湿原の蝶とトンボ. すかしば, (14) :13-15.
- 淀江賢一郎・佐藤仁志 (1986) 匹見峠でガロアムシを発見. 島根県野生生物研究会報, (4) :36.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (1997) 島根県の動物相に関する文献目録 (1993-1995年). ホシザキグリーン財団研究報告, (1) :15-33.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (1998) 島根県の動物相に関する文献目録 Part2 (1996-1997年). ホシザキグリーン財団研究報告, (2) :91-107.
- 淀江賢一郎・鶴崎展巨 (2000) 島根県の動物相に関する文献目録 Part3 (1998-1999年). ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :7-26.
- 淀江賢一郎・山本正志 (1978) 広島県東部のキバネセセリとクロヒカゲモドキ. 比婆科学, (109) :27-28.
- 淀江賢一郎・星川和夫・門脇久志・尾原和夫・三島秀夫 (2000) 松江市円木池とその周辺の昆虫類. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :161-192.
- 淀江賢一郎・星川和夫・齊藤光男・門脇久志・尾原和夫 (1998) 島根県斐伊川水系の昆虫類 (1997年の調査結果). ホシザキグリーン財団研究報告, (2) :7-86.
- 淀江賢一郎・和泉浩行・佐々木保 (1993) 県別レッドデータリスト (28) 島根県. 「日本産蝶類の衰亡と保護第2集」:54-56. 日本鱗翅学会・日本自然保護協会.
- 淀江賢一郎・尾原和夫・三島秀夫 (2000) 島根県宍道町の昆虫相. 宍道町歴史叢書5. 町史研究 (III) :20-78.
- 淀江賢一郎・坂田国嗣・藤原泰樹・山本正志 (2006) 島根県の蝶類－島根県には何種類の蝶類がいるのか? 「新島根の生物」:219-245. 日本生物教育会島根大会実行委員会.
- 淀江賢一郎・養父志乃夫 (1982) 島根県のトンボ相.I:基礎データ集. すかしば, (18) :1-26.
- 横倉 明 (2005) ヒメシジミの魅力. Butterflies (fiji), (39) :15-20.
- 米田淳二 (1988) ヒメハルゼミを八雲村で確認. すかしば, (30) :44.
- 吉田浩二 (1972) 横田のオオムラサキ. Longicorn, (2) :4-5.
- (財) ホシザキグリーン財団監修 (2002) 「みんなの宍道湖～自然観察ガイドブック～」. 143pp.

## クモ類文献

- 景山純孝 (1966) 山陰地方の真正蜘蛛類第1報. 松江市立教育研究所研究集録, (3) :94-102.
- 景山純孝 (1967) 隠岐島産真正蜘蛛類について. 松江市立教育研究所研究集録, (4) :75-86.
- 景山純孝 (1968) 隠岐島産真正蜘蛛類について (続報). 松江市立教育研究所研究集録, (5) :97-104.
- 景山純孝 (1970) 島根県仁多郡鬼の舌震の真正蜘蛛類. 松江市立女子高等学校研究紀要, (1) :17-29.
- 景山純孝 (1971) 島根県美濃郡匹見峠の真正蜘蛛類. 松江市立女子高等学校研究紀要, (2) :39-46.
- 加村隆英・淀江賢一郎・齊藤光男 (1999) 島根県斐伊川水系のクモ類 (1997年の調査結果). ホシザキグリーン財団研究報告, (3) :39-56.
- 環境省 (2006) 日本レッドデータブック. 環境省自然環境局野生生物課 (編)
- 皆木宏明 (2012) 島根県におけるキノボリトタテグモの分布について. 島根県立三瓶自然館研究報告 (10) :35-38.
- 皆木宏明・景山純孝 (2013) 島根県西部で初記録となるワスレナグモ (クモ目:ジグモ科) について. 島根県立三瓶自然館研究報告 (10) :65-67.
- 野津幸夫・吉岡武雄 (2004) 隠岐の文化財.
- 小川光昭 (1997) 江の川流域の真正クモ類. 比和科学博物館研究報告, (34) :195-204.
- 小川光昭 (2003) 江の川流域の真正クモ類 (第2報). 比和科学博物館研究報告, (42) :181-197.
- 小川光昭・松田 賢・中村慎吾 (2000) 島根県高津川の真正クモ類. ホシザキグリーン財団研究報告, (4) :41-48.
- 坂本 巍 (1961) 琴引山にクモをたずねて. 松江生物懇談会会報, (2) :1-3.
- 坂本 巍 (1962) 三瓶山の真正クモ目. 「三瓶総合調査報告書」:

- 57-60.
- 島根県(2003)「都市計画道路仁摩湯乃津線環境影響評価準備書」.
- 島根県(2003)「都市計画道路浜田三隅線環境影響評価準備書」.
- 新海 明・谷川明男(2003)島根県で観察したクモ類. *Kishidaia*, 84:69-71.
- 新海 明・谷川明男(2006)東京蜘蛛談話会2006年度合宿報告 島根県大田市温泉津(ゆのつ)温泉周辺のクモ. *Kishidaia*, 90:52-61.
- 新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生(2010)県別 クモ類分布図ver.2010.著者自刊(CD-ROM)
- Suzuki,K.and Tsurusaki,N & Kodama,Y. (2006) Distribution of an endangered burrowing spider *Lycosa ishikariana* in the San'in Coast of Honshu,Japan (Araneae:Lycosidae). *Acta Arachnologica*,55 (2) :79-86.
- 植村利夫(1941)佐藤井岐雄氏採集隠岐島産真正蜘蛛類概報. *Acta Arach.*, 6 (2) :36-42.
- 八木沼健夫(1938)中国地方の蜘蛛相概要. *Acta Arach.*, 3 (4) : 142-151.
- 八木沼健夫(1986)「原色日本クモ類図鑑」. 305pp. 保育社.
- 古林敏彦(2008)宍道湖・中海のエビ・カニ類. Pp.14-17. 宍道湖自然館第15回特別展「エビ・カニ大図鑑」展示解説 しまねのエビ・カニ. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス. 65pp.
- 桑原弘道(2000)エビのなかま(節足動物門/甲殻綱/十脚目), カニのなかま(節足動物門/甲殻綱/十脚目), その他の甲殻類. Pp.76-85. 斐伊川水系の底生動物. 建設省中国地方建設局出雲工事事務所, 出雲, 170pp.
- 桑原友春(2011)島根県松江市の境水道で採集されたフタバカクガニ. ホシザキグリーン財団研究報告, (14) : 262.
- 桑原友春(2012)島根県東部のカニ図鑑～陸上・潮間帯・淡水編～. Pp.28-36. 宍道湖自然館第23回特別展「かにっ記～陸を歩くカニとそのなかまたち～」展示解説 かにっ記. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス. 60pp.
- 桑原友春・中野浩史・本尾 洋(2012)日本海から初記録のタイワンヒライソモドキ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15) : 263-265.
- 桑原友春・山口勝秀・中野浩史(2013)隠岐諸島におけるカニ類の分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 97-107.
- 本尾 洋(2003)日本海産カニ類-I.既知種. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (9) : 55-68.
- 本尾 洋(2008a)日本海産エビ類-I.既知種. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (14) : 13-27.
- 本尾 洋(2008b)日本海で近年採捕された暖流系のいわゆる稀少大型甲殻類. のと海洋ふれあいセンター研究報告, (14) : 28-42.
- 丹羽信彰(2010)外来輸入エビ, カワリヌマエビ属エビ (*Neocardinida* spp.) およびPalaemonidae spp.の輸入実態と国内の流通ルート. *CANCER*, (19) : 75-80.
- Nunomura, N. (1984) Studies on the terrestrial crustaceans in Japan II. Taxonomy of the family Scyphacidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (6) : 1-43.
- Nunomura, N. (1986) Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. III. Taxonomy of the Families Scyphacidae (continued), Marinoniscidae, Halophilosciidae, Philosciidae and Oniscidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (9) : 1-72.
- Nunomura, N. (1987) Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan. IV. Taxonomy of the families Trachelipidae and Porcellionidae. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (11) : 1-76.
- Nunomura, N. (1990) Studies on the terrestrial isopod crustaceans in Japan V. Taxonomy of the families Armadillidiidae, Armadillidae and Tylidae, with taxonomic supplements to some other families. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (13) : 1-58.
- Nunomura, N. (2001) A new species of the genus *Cyathura* (Crustacea: Isopoda) from the Lake Shinji-ko, Shimane Prefecture, western Japan. *Bull. Toyama Sci. Mus.*, (24) : 19-23.
- 大畑純二(2008)島根の淡水エビ類(上田コレクションについて). Pp.48-53. 宍道湖自然館第15回特別展「エビ・カニ大図鑑」

## 甲殻類文献

- 林 成多(2012)島根県東部で採集した陸棲等脚目の記録. ホシザキグリーン財団研究報告, 15: 195-200.
- 林 成多(2013)隠岐諸島中ノ島で観察した淡水産十脚目甲殻類. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (8) : 95-96.
- 林 成多・佐々木興・中野浩史・寺岡誠二・山口勝秀・越川敏樹(2008)出雲市平田地域の河川に生息する水生生物. ホシザキグリーン財団研究報告, (11) : 1-60.
- 林 成多・辻井要介・中野浩史・山口勝秀・越川敏樹(2011)島根県出雲市の河川に生息する水生生物. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, (3) : 1-108.
- 今井 正(2012)能登半島および能登島における淡水産コエビ類の分布. 日本生物地理学会会報, (67) : 153-162.
- 板木孝典(2009)島根県東部におけるエビ類の分布調査. ホシザキグリーン財団研究報告, (12) : 299-307.
- 板木孝典(2010)島根県東部におけるエビ類の分布調査II. ホシザキグリーン財団研究報告, (13) : 279-288.
- 上田常一(1951)山陰における石見と出雲の陸水エビ類. 島根大学論集, (1) : 71-82.
- 上田常一(1963)山陰地方(隠岐群島を含む)及びその付近海域のカニ類について. *Researches on Crustacea*, (7) : 20-31.
- 上田常一(1964)「山陰の動物誌」157pp. 今井書店.
- 上田常一(1965)「隠岐の動物」172pp. 園山書店.
- 上田常一(1970)「日本淡水エビ類の研究(改訂増補版)」. 213pp. 園山書店.
- 加藤琢矛・池田 等(1992)木村コレクション隠岐産動物標本目録 (1)十脚甲殻類. 隠岐の文化財, (9) : 1-29.
- 川井唯史・中田和義(2011)「エビ・カニ・ザリガニ-淡水甲殻類の保全と生物学」. 460pp. 生物研究社.

- 展示解説 しまねのエビ・カニ. 島根県立宍道湖自然館ゴビウス, 65pp.
- 佐藤仁志・加藤琢磨 (1996) 「上田常一動物標本コレクション目録～甲殻類～」. 島根県立三瓶自然館収蔵資料目録第1号. 138 pp. 島根県立三瓶自然館.
- 武田正倫・古田晋平・宮永貴幸・田村昭夫・和田年史 (2011) 日本海南西部鳥取県沿岸およびその周辺に生息するカニ類. 鳥取県立博物館研究報告, (48) : 29-94.
- 辻井要介 (2014) 島根県出雲市の湧水環境に生息するトゲナシヌマエビとミナミテナガエビ. ホシザキグリーン財団研究報告, (17). 印刷中.
- 宇田川弘康・佐藤仁志 (1991) 山陰地方における淡水エビ類の分布について. 島根野生生物研究会会報, (7) : 19-21.
- Yamauchi T. (2004) A Checklist of Published Crustacean Species from Brackish Lakes, Shinjiko and Nakaumi, Japan. LAGUNA, (11) : 69-86.
- 山内健生・布村 昇 (2003) 島根県産陸棲等脚目分布資料 (I) 既報の整理. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 167-171.
- 167.
- 湊 宏 (1972) 隠岐の陸産貝類相. ちりぼたん, 7 (4) : 78-82.
- 湊 宏 (1980) 「陸産貝類の観察と研究」. 85pp. ニューサイエンス社.
- 湊 宏 (1994) 日本産キセルガイ科貝類の分類と分布に関する研究. 貝類学雑誌 (Venus), Supplement, (2) : 212pp. +6 tables +74 pls.
- 湊 宏 (2005a) イトウムシオイガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-. 58pp.
- 湊 宏 (2005b) ハンジロギセル. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-. 109pp.
- 湊 宏 (2005c) 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータブック-. 58pp.
- 野津 大 (1983) 「隠岐の生物」. 245 pp. 読売新聞松江支局.
- 谷山 浩 (2002a) アズキガイ. レッドデータブックとつとり, 172 pp.
- 谷山 浩 (2002b) クリイロキセルガイモドキ. レッドデータブックとつとり, 177pp.
- 谷山 浩 (2002c) キセルガイモドキ. レッドデータブックとつとり, 178pp.
- 谷山 浩・宇野 明 (2012) ヤママメタニシ. レッドデータブックとつとり改訂版, 149pp.
- 戸田顕史・馬堀望美・福田 宏・品川 明 (2003) 宮道湖におけるミズゴマツボの出現と分布. ホシザキグリーン財団研究報告, (6) : 59-63.
- 宇野 明 (2002a) オオゴマガイ. レッドデータブックとつとり, 174 pp.
- 宇野 明 (2002b) ヤママメタニシ. レッドデータブックとつとり, 175 pp.

## 陸・淡水産貝類文献

- 東 正雄 (1995) 「原色日本陸産貝類図鑑」. 保育社.
- 福田 宏 (1996) ミズゴマツボ. 和田恵次編「日本における干潟海岸とそこに棲息する底生生物の現状. WWW Japan Science Report」, 3: 1-182.
- 福田 宏 (2000) 卷貝類 I - 総論. 佐藤正典編「有明海の生きものたち」: 100-137. 海游舎.
- 波部忠重 (1993) 第4回自然環境保全基礎調査.
- Hosaka, K. & Fukuda, H. (1996) Discovery of a population of an endangered brackish-water snail *Stenothyra japonica* (Gastropoda: Neotaenioglossa: Stenothyridae) and characteristics of the accompanied molluscan fauna in Onoda City, Yamaguchi Prefecture, western Japan, with a comment on the conservation value. *The Yuriyagai*, 4: 65-96.
- 建設省地方建設局出雲工事事務所 (2000) 斐伊川水系の底生動物. 133pp.
- 吉良哲明 (1939) 隠岐島及び山陰地方の採集. 附うそのなみまいの和名の問題. *Venus*, 9 (3/4) : 170-174.
- 清井武志・秋吉英雄 (2007) 島根県内の寺林叢における陸産貝類(軟体動物門腹足綱)の生態学的評価. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 227-287.
- 近藤高貴 (2002) 日本産イシガイ類図鑑.
- Kuroda,T. (1962) Notes on the Stenothyridae (aquatic Gastropoda) from Japan and adjacent region. *Venus*, 22: 59-69, pl. 4.
- 黒住耐二 (1996) ミズゴマツボ. 「日本の希少な野生水生生物に関する基礎資料」(3), I. 軟体動物 (日本水産資源保護協会編): 22-28, 83-84. 日本水産資源保護協会.
- 黒住耐二・一澤 圭・川上 靖 (2011) 鳥取県立博物館に寄贈された石坂元貝類コレクション-非海産腹足類-.
- 湊 宏 (1971) 隠岐諸島のキセルガイ. ちりぼたん, 6 (7) : 165-

## サンゴ類文献

- 秋吉英雄 (1985) 山陰海中散歩. (山陰中央新報15回連載記事)
- 秋吉英雄 (2002) 「海辺の博物学 島根県の海辺の生物たち」. 42pp. (財) 島根ふれあい環境財団21.
- 秋吉英雄 (2003) 「島根漂着物図鑑」. 41pp. (財) 島根ふれあい環境財団21.
- 江口元起 (1968) 生物学御研究所編「相模産ヒドロ珊瑚類及び石珊瑚類」. 丸善.
- 波部忠重 (1971) 大社町日御崎沿岸の無脊椎動物相. 「日御崎海岸海中公園調査報告書」: 31-38.
- 波部忠重 (1973) 隠岐海中公園候補地の無脊椎動物相. 「海中公園センター調査報告書」: 27-35.
- 堀越増興・永田豊・佐藤任弘 (1987) 「日本列島をめぐる海」. 299pp. 岩波書店.
- 井田 齊・福田照雄 (1973) 島根県隠岐周辺の魚類. 「海中公園センター調査報告書」: 37-45.
- 海中公園センター (1973) 「島根県海中公園学術調査報告書」. 76pp.
- 幸塚久則・秋吉英雄 (2006) 隠岐の島周辺海域から採集された浅海産非造礁性イシサンゴ類. 日本生物地理学会会報, 61 : 53-66

幸塚久則・秋吉英雄 (2007) 隠岐諸島に生息する浅海産非造礁性  
イシサンゴ類. うみうし通信, 54 : 4-6

西村三郎 (1992) 「原色検索日本海岸動物図鑑 I」. 425pp. 保育  
社.

野村恵一・梶村光男・内田紘臣 (1994) 隠岐諸島における造礁性  
イシサンゴ類について. 海中公園情報, (106) : 7-11.

島根大学理学部付属隠岐臨海実験所 (1995) 隠岐臨海実験所周  
辺の動・植物リスト, 53pp

島根県水産試験場 (1963) 「沿岸水族幼稚魚生態調査研究報告  
書」.

白井祥平 (1976) 「島根半島海中公園海中調査結果 (概要)」.  
10pp.

田村剛・斎藤一雄 (1973) 島根県隠岐地区海中公園の保護及び利  
用計画の概要. 「海中公園センター調査報告書」: 53-76.

矢島孝昭 (1986) 能登九十九湾周辺海域におけるキクメイシモド  
キ *Oulastrea crispata* La,arl の生態分布. 金沢大学日本海域  
研究所報告, (18) : 21-36.

## 淡水海綿類文献

益田芳樹 (2001) 淡水海綿類. 浜島繁隆ら編「ため池の自然」:  
102-109. 信山社サイテック, 東京

益田芳樹・佐藤国康 (1990) 宍道湖及びその周辺の淡水海綿につ  
いて. Kawasaki Medical Society, (16) : 67-82.

益田芳樹・佐藤国康 (1991-2000) 淡水海綿の話 - その1～6 - .  
兵庫陸水生物, (39/40) : 17-20., (41) : 49-52., (42) : 43-46.,  
(43) : 59-66., (51/52) : 345-356.